

産学連携学会

第23回大会 函館大会

23th Annual Meeting of Japan Society for Intellectual Production

日 時

2025年 (木) 6月19日・20日 (金)

場 所

函館アリーナ(サブアリーナ・多目的会議室・武道館)
〒042-0932 北海道函館市湯川町1丁目32-2

主催・共催

特定非営利活動法人 産学連携学会
国立大学法人 北海道大学大学院水産科学研究院

後 援

(順不同)

文部科学省、経済産業省、農林水産省、
国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター
独立行政法人中小企業基盤整備機構、知的財産戦略本部
北海道、函館市、公益財団法人函館地域産業振興財団、函館商工会議所
北海道商工会連合会、北海道経済同友会、北海道経済連合会
一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構、公立はこだて未来大学
国立大学法人北海道教育大学函館校、函館大学、函館工業高等専門学校
北海道漁業協同組合連合会

大会運営

大会長

瀬戸口 剛
北海道大学理事・副学長

実行委員長

都木 靖彰
北海道大学大学院水産科学研究院長

プロメテウスの火
人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

産学連携学会第23回大会【函館大会】プログラム

目 次

ご参加の皆さまへ.....	1
会場案内図.....	4
全体プログラム.....	9
タイムテーブル.....	13
発表プログラム.....	15

産学連携学会第23回大会【函館大会】

会 期：2025年6月19日（木）10：00～17：30（開場9：00～）
20日（金） 9：00～16：00（開場8：30～）
会 場：函館アリーナ サブアリーナ・武道館・多目的会議室
（北海道函館市湯川町1丁目32番2号）

ご参加のみなさまへ

1 発表要領

■ 一般講演・オーガナイズドセッション

- 1) 講演番号は、日付、発表会場、セッション開始時刻、発表順の各英数字で構成しています。（例0619B1000-2 発表日：6月19日、B会場、セッション開始：10：00分、発表順：2）
- 2) 各講演は以下の時間で構成される個別口頭発表形式で行います。
発表時間12分 討論時間3分 〔計15分〕
- 3) 発表終了1分前にベルを1回、発表終了時にベルを2回鳴らします。
討論終了時にはベルを3回鳴らします。
十分な討論ができるよう、発表は12分以内に収めてください。
- 4) オーガナイズドセッションの時間配分は座長に一任しております。
- 5) 発表時のパソコン操作は各自で行ってください。

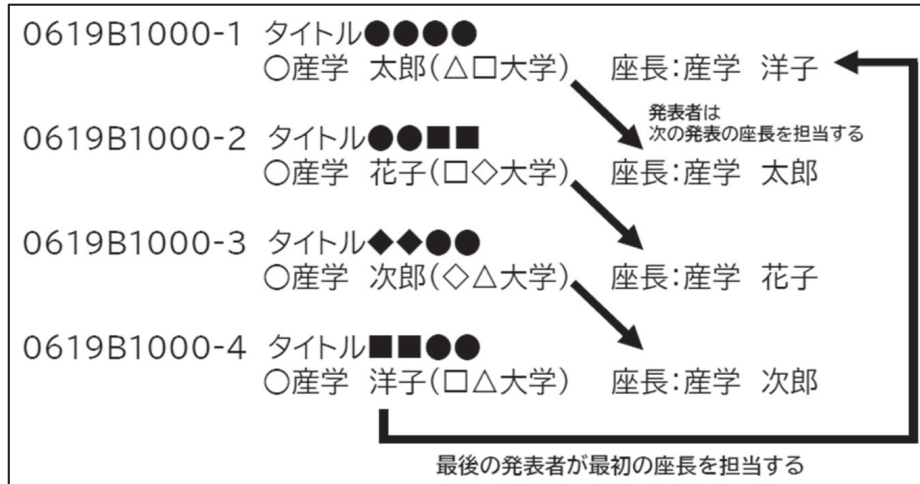
■ ポスターセッション（メイン会場：2階サブアリーナ）

- 1) ポスターパネルは、縦177cm×横115cmです。これに収まるようにご準備ください。パネルは画びょうが打てないタイプとなりますので、両面テープ（片面がテープ、片面がマジックタイプ）をご準備ください。
- 2) 出展者は各自ポスターを会場へ持参し、6月19日（木）10：00までに所定の会場に展示してください。（パネルに掲示している受付番号の札をご参照ください。）
- 3) ポスターは原則として大会期間中継続して展示します。展示は6月20日（金）16：00に終了します。
セッション終了後、展示者は速やかにポスターを撤去してください。
- 4) 6月20日（金）12：00～13：00をコアタイムとします。この間、発表者はポスター前に待機してください。

2 座長担当について

- 1) 今大会では、座長はセッション内持ち回り担当制とします。発表者は、自身の発表後座長席へ移動し、次の発表の座長を担当してください。なお、最初の発表の座長については、セッション内の最後の発表者が担当してください。（下記イメージ参照）

＜セッション内座長持ち回り担当制のイメージ＞



- 2) 担当するセッションの開始時間10分前までには会場へお越しください。
- 3) 座長は、フロアからの質問を促し、自らも発表者へ質問をするなど、セッション内での質疑応答が活発になるよう努めてください。
- 4) 講演者に対して、発表・進行の時間厳守を促してください。
- 5) キャンセルされた講演がある場合には、次の講演を行い、セッション内の時間配分内で調整してください。

3 昼食

■ 飲食可能な場所

1階多目的会議室Bを休憩エリアとしてご利用いただけますほか、メイン会場等もセッションが行われていない時間帯は飲食可能です。（セッション中の講演会場での飲食はご遠慮ください。）

■ ゴミ箱の設置

大会専用のゴミ箱を多目的会議室Bおよびメイン会場に設置していますので、ご利用ください。（施設のゴミ箱はご利用いただけませんのでご注意ください。）
なお、分別については、「缶・ビン・ペットボトル」と「燃えるゴミ」の2種類となります。分別のご協力をお願いします。

■ 昼食を申込された方（事前のウェブ予約のみ）

ウェブ申込時にお弁当を予約された方は、下記時間帯で、お弁当の受け渡しを行います。

＜お弁当の受け渡し＞

場 所：1Fロビー お弁当引換所

受け渡し時間：各日11:00から14:30の間

※以降の受け渡しは出来かねる場合がございます。時間厳守をお願いいたします。

受け渡しの際は、事前の印刷・持参をご案内しているネームプレート（裏面）を掲示ください。ネームプレート裏面に記載の予約内容を確認させていただきます。

4 喫煙場所

会場内は**全館禁煙**となっております。1階駐車場側玄関を出て正面にある市民会館横に指定の喫煙場所がありますので、ご利用ください。（下図参照）

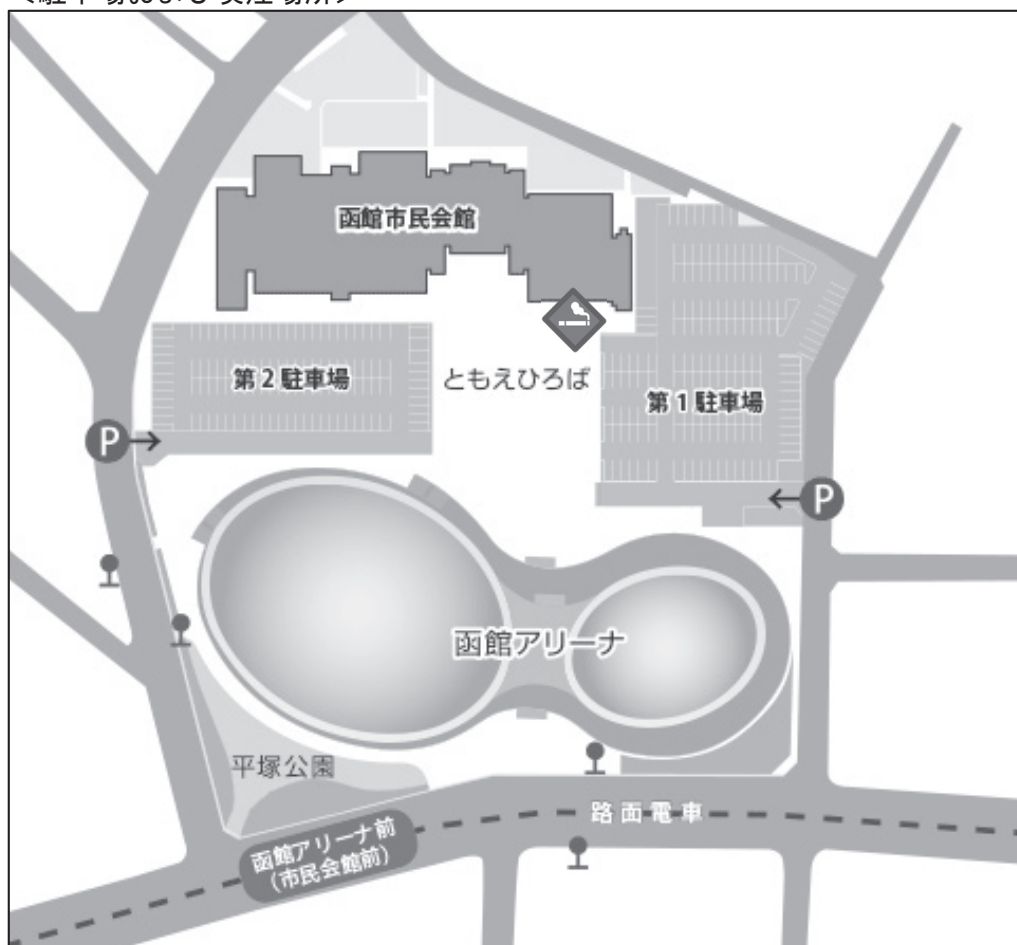
5 駐車場

お車でご来場の方は、**第1駐車場**または**第2駐車場**をご利用ください。

駐車券を館内で認証後、**2時間まで無料**です。以後、**30分ごとに100円**ずつ加算されます。駐車料金は各自ご負担願います。

※無料認証時間の範囲内で出入庫を繰り返すなどの行為が見受けられた場合、運営スタッフや警備員等からお声がけさせていただく場合がございますので、ご注意ください。

＜駐車場および喫煙場所＞



6 運営

大会長：瀬戸口 剛（北海道大学理事・副学長）

実行委員長：都木 靖彰（北海道大学大学院水産科学研究院長）

大会事務局：産学連携学会第23回大会函館大会実行委員会

事務局：福田 覚・吉岡 幹人

〒041-8611 北海道函館市港町3丁目1番1号

北海道大学地域水産業共創センター内

Tel：0138-40-5039

Mail：sangaku2025hakodate-rfc@fish.hokudai.ac.jp

会場案内図

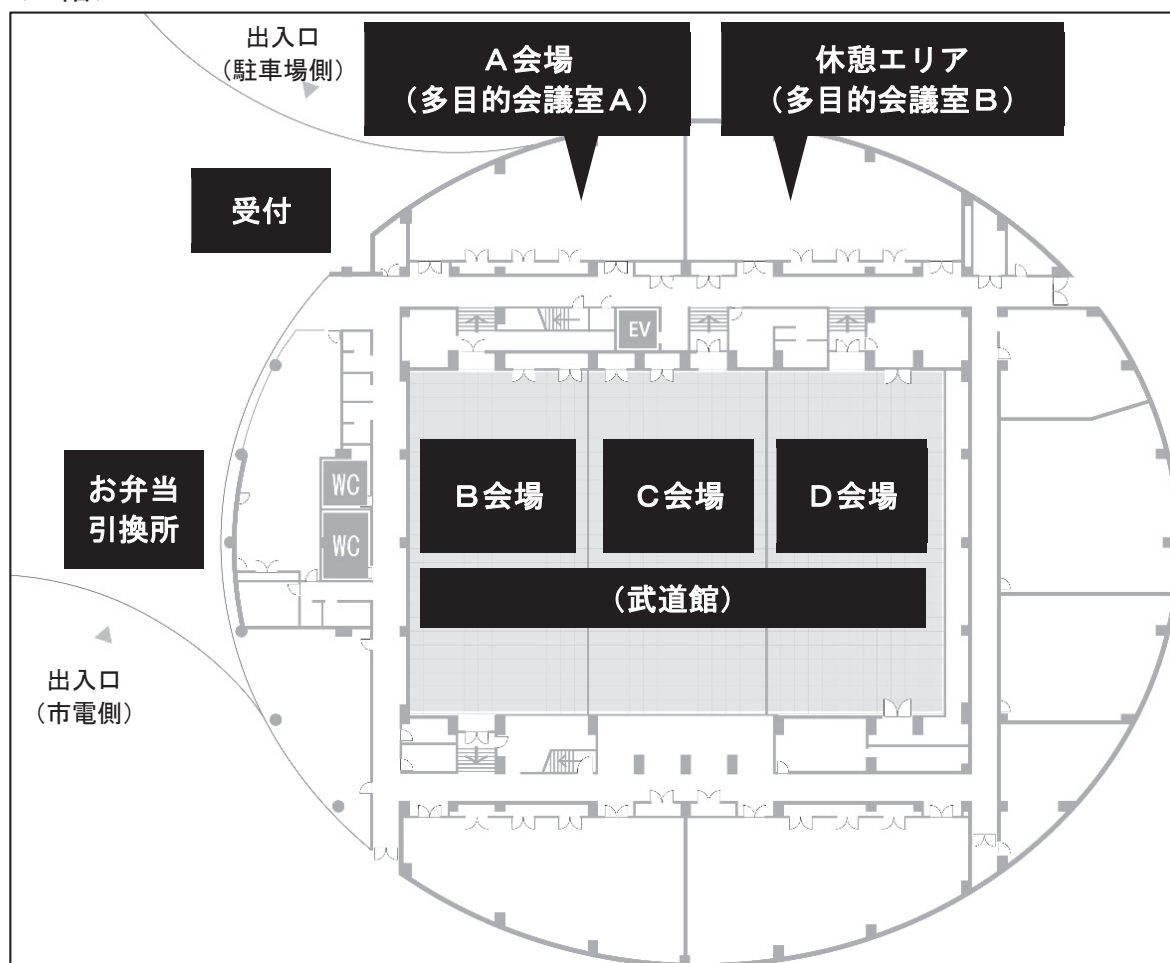
【1階】

受付・お弁当引換所：ロビー

A～D会場：多目的会議室A・武道館

休憩エリア：多目的会議室B

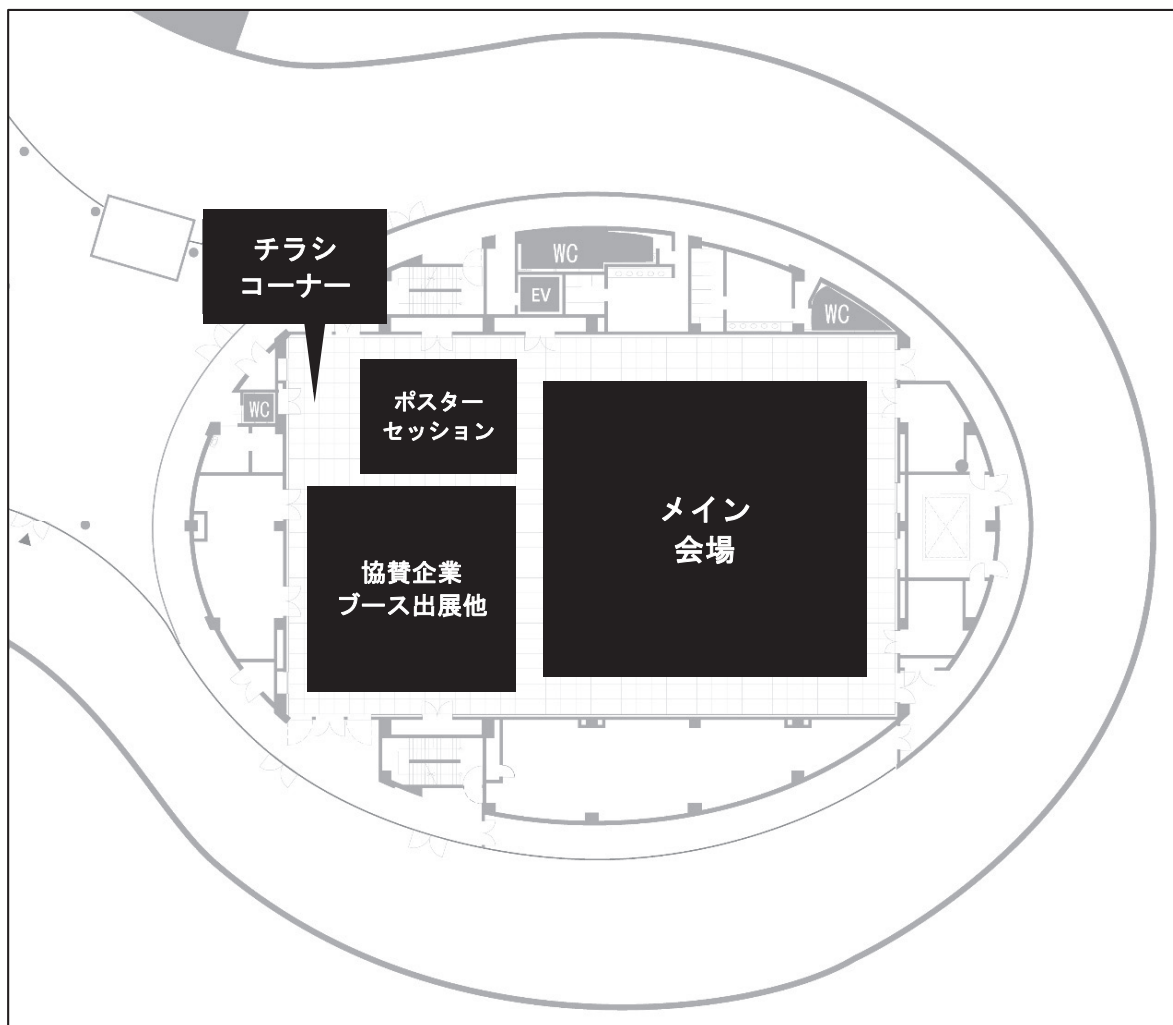
< 1階 >



【2階】

メイン会場・ポスターセッション会場・協賛ブース：サブアリーナ

< 2 階 >



- 受付は、函館アリーナ 1 階ロビーに設置します。
来場されましたら、まず受付にお立ちよりください。「事前予約受付」・「当日受付」が
ございますのでご注意ください。

(1) **ウェブ予約された方【事前予約】**

- ・「事前予約受付」にお越しください。
- ・事前にご案内しておりますネームプレートを印刷の上、ネームホルダー等に入れて
ご持参ください。
- ・ネームホルダーはご自身でご用意ください。大会参加中のご着用をお願いいたしま
す。（裏面も確認できる透明なネームホルダー推奨）

(2) **5 月 1 日（木）以降、事務局に直接お申込みされた方【非予約枠】**

- ・「当日受付」にお越しください。
- ・受付にて参加費をお支払いください。（現金のみ）
- ・事前送付させていただいておりますネームプレートを印刷の上、ネームホルダー等
に入れてご持参ください。
- ・ネームホルダーは原則ご自身でご用意ください。大会参加中のご着用をお願いいたし
ます。（裏面も確認できるネームホルダー推奨）

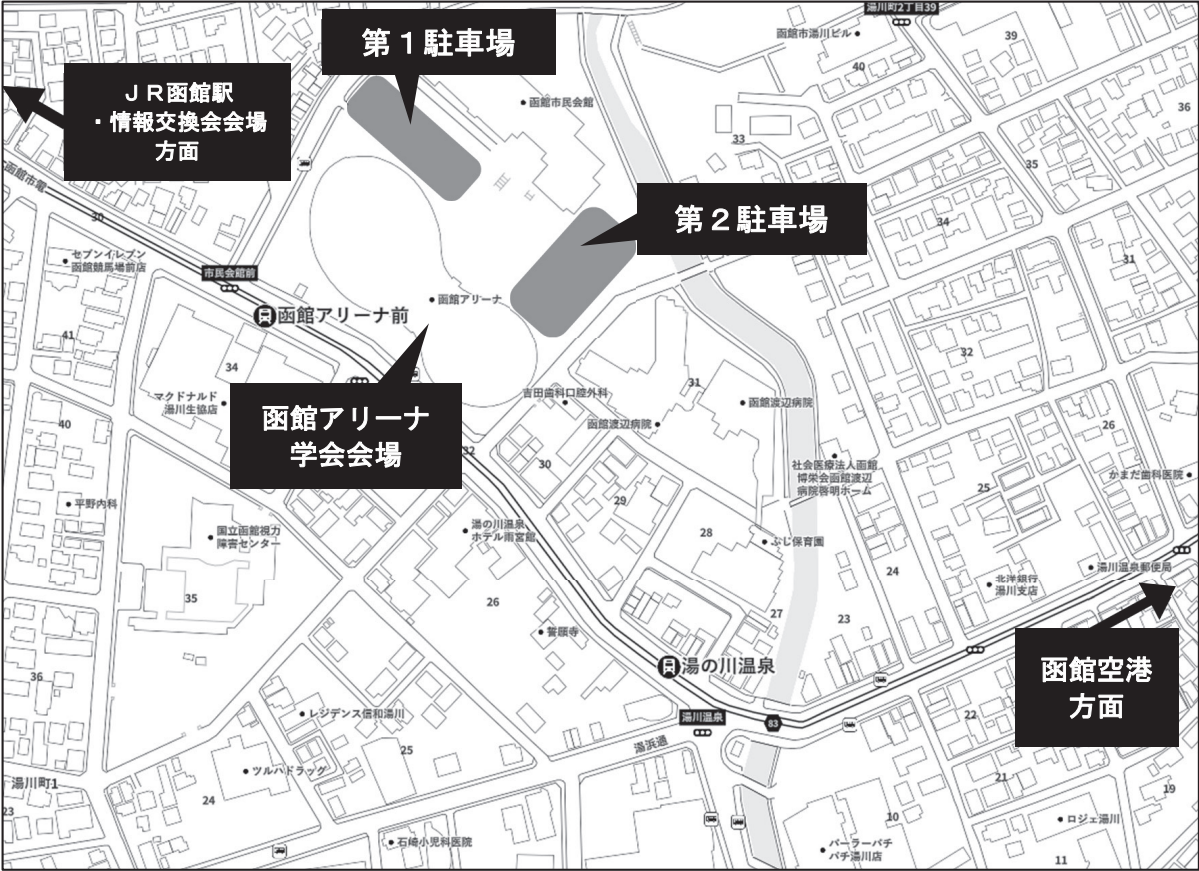
(3) **当日受付の方 【（1）および（2）のいずれのお申込みもない方】**

- ・「当日受付」にお越しください
- ・受付および参加費のお支払いをお願いします。（現金のみ）
- ・ネームプレート（白紙）をお渡ししますので、ご記入の上、大会参加中のご着用をお願
いいたします。

- 函館アリーナの各会場内は、Wifi使用可能です。各会場にパスワードを掲示しております
のでご利用ください。ただし、アクセスが集中すると速度が遅くなる場合がございますので、
ご了承ください。

- クロークはございません。恐れ入りますが、貴重品等の管理は各自でお願いします。
万が一、紛失・破損等があった場合、事務局では責任を負いかねますのでご了承ください。

函館アリーナへのアクセス



- 函館空港から
 - ・函館バス 7A・7B系統利用 「函館アリーナ前」下車徒歩3分（所要時間 約20分）
 - ・タクシー（所要時間 約10分）
- JR函館駅から
 - ・市電 2系統・5系統 湯の川行「函館アリーナ前」下車徒歩3分（所要時間 約40分）
 - ・タクシー（所要時間 約20分）
- 自家用車でご来場の場合
 - ・函館新外環状道路 函館空港ICから 所要時間 約10分
 - ・函館アリーナ・函館市民会館 第1駐車場・第2駐車場利用可（1階ホールで駐車券の認証を受けることで2時間まで無料、それ以降は30分毎に100円加算）

函館アリーナへのアクセスと全体マップにつきましては、下記URLもご参照ください。

【公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団ホームページ】

<https://www.zaidan-hakodate.com/arena/access.html>



情報交換会会場へのアクセス



- 函館アリーナから
 - ・市電 2系統 谷地頭行・5系統 函館どっく前行「五稜郭公園前」下車徒歩5分（所要時間 約20分）
 - ・タクシー（所要時間 約10分）
- 函館空港から
 - ・函館バス 7A・7B系統利用 「五稜郭」下車徒歩5分（所要時間 約30分）
 - ・タクシー（所要時間 約20分）
- J R 函館駅から
 - ・市電で「五稜郭公園前」下車徒歩3分（所要時間 約20分）
 - ・タクシー（所要時間 約10分）
- 自家用車でご来場の場合
 - ・ベルクラシック函館 無料駐車場利用可

情報交換会会場へのアクセスにつきましては、下記URLもご参照ください。
【ベルクラシック函館ホームページ】

<https://www.bellclassic.co.jp/hokkaidou/hakodate/access>



- クロークは1Fにございますのでご利用ください。
- 受付は6月19日（木）17：45からとなります。

全体プログラム

開 会 式

【日 時】 6月19日（木） 14：45～15：15

【会 場】 メイン会場（サブアリーナ）

基 調 講 演

【日 時】 6月19日（木） 15：15～16：00

【会 場】 メイン会場（サブアリーナ）

【講 師】 N T Tグリーン&フード株式会社 代表取締役社長 久住 嘉和 氏

【テーマ】 産学官連携による地域産業の復興と次世代につなげる循環型社会の実現可能性

シンポジウム

テーマ：新たな人材育成の取り組みから考える産学官連携による地域人材と産業の創出

【日 時】6月19日（木）16：00～17：30

【会 場】メイン会場（サブアリーナ）

【概 要】

昨今の自然・社会環境の変化に伴い、函館地域では水産業や観光業などの産業の停滞、そこに住まう人々、特に若年層の流出なども含めた地域経済の衰弱が懸念されています。

このような状況は、日本の各地方都市が抱える共通の課題であり、それを打破するためには、地域に根づく次の世代を担う人材の育成と、新たな産業の創出が必要であり、産学官連携による取り組みとしてより一層関心が高まりつつあります。

そこで、本大会のシンポジウムでは、内閣府による函館市地方大学・地域産業創生交付金事業「函館マリカルチャープロジェクト」の一環である「GREEN人材育成プログラム」のほか、JST（科学技術振興機構）の共創の場形成支援プログラムによる「養殖を柱とした地域活性化のための人材育成事業」などを産学官連携による人材育成の事例として取り上げ、関係者間が交流し、そこから生まれるイノベーションと地域活性化の可能性について議論し、次世代を担う人材育成と持続可能な産業の創出について共に考えます。

【パネリスト（敬称略）】

函館市企画部 次長	山口 綾
長崎大学海洋未来イノベーション機構 機構長	征矢野 清
霞ヶ関キャピタル株式会社 取締役副社長	杉本 亮

【コメンテーター（敬称略）】

文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 産学連携推進室 室長	迫田 健吉
経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室 室長	川上 悟史
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 室長	今西 直人
内閣府 地方創生推進事務局 参事官	塩田 剛志

【ファシリテーター兼パネリスト（敬称略）】

北海道大学大学院水産科学研究院 研究院長	都木 靖彰
----------------------	-------

一般講演

【日 時】 6月19日（木） 10：00～14：30
6月20日（金） 9：00～16：00

【会 場】 メイン会場、A会場、B会場、C会場、D会場

オーガナイズドセッション

- 1 知的財産権・知財専門委員制度とビジネスコート どう捉え応援するか
座長・オーガナイザー：湯本 長伯（社会構造設計事務所）
【日 時】 6月19日（木） 10：00～12：00
【会 場】 メイン会場
- 2 NEDO企画セッション
「地域におけるスタートアップ、産学連携の定着とその支援のリアル」
～ウェルビーイングと地域愛～
座長・オーガナイザー：馬場 大輔（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
【日 時】 6月19日（木） 10：00～11：30
【会 場】 B会場
- 3 地域連携教育研究会企画セッション
地域連携教育の課題と苦悩part2ー企業を核とした大学と地域との連携の実際ー
座長・オーガナイザー：杉岡 秀紀（福知山公立大学・地域連携教育研究会）
【日 時】 6月19日（木） 13：30～14：30
【会 場】 B会場
- 4 JST-CRDS企画セッション
知財を活かす、デザインでつなぐ、共創で育む
ー産学橋渡しを強化・推進するアプローチ
座長・オーガナイザー：永野 智己（科学技術振興機構）
【日 時】 6月20日（金） 9：00～12：00
【会 場】 メイン会場
- 5 「イグイノベーションコンテスト研究」
【イノベーション提案・就学年齢5歳で大学院MCまでを20歳で終了】を検証する
座長・オーガナイザー：湯本 長伯（社会構造設計事務所）
【日 時】 6月20日（金） 13：00～14：30
【会 場】 メイン会場
- 6 大学におけるクラウド・ファンディングの実践および展望
座長・オーガナイザー：原田 隆（東京科学大学）
【日 時】 6月20日（金） 9：00～10：30
【会 場】 A会場

7 学会誌投稿・査読システム改革特別セッション

「積極的に研究・活動成果を学会誌に投稿しよう」

座長・オーガナイザー：小野 浩幸（山形大学）

【日 時】 6月20日（金） 9：00～10：30

【会 場】 B会場

**8 「スタートアップ・エコシステム共創プログラムにおける地域のスタートアップ創出」
ー北海道、甲信・北関東、北陸、中国・四国地域の取組み紹介ー**

座長・オーガナイザー：小野 裕之（北海道大学）

【日 時】 6月20日（金） 9：00～11：00

【会 場】 C会場

ポスター

【日 時】 6月19日（木） 10：00～20日（金） 16：00

【会 場】 メイン会場

タイムテーブル 6月19日(木)

時間	2 F			1 F								時間
	サブアリーナ			多目的会議室 A		武道館 1		武道館 2		武道館 3		
	メイン会場		ポスター会場	A会場		B会場		C会場		D会場		
	セッション	講演者		セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者	
10:00	知的財産権・知財専門委員会制度とどう捉え応援するか 【OS】湯本 長伯 伊藤 慎一 ディスカッション：湯本 長伯 伊藤 慎一 石塚 悟史		ポスターセッション	知的財産 1	片岡 沙都紀	産学官連携におけるスタートアップ、ウエルビーイングと地域のリアル 馬場 大輔	【OS】馬場 大輔 中田 泰子 津國 浩之 今津 美樹 ディスカッション：馬場 大輔 中田 泰子 平山 浩之 津國 今津 美樹	産学官連携プロジェクト 1	友村 圭祐	スタートアップ 1	西野 由高	10:00
10:15					生田 容景				安田 誠		野村 豪	10:15
10:30					村上 画里				成田 尚宣		中澤 真吾	10:30
10:45					嵯峨山 和美				三枝 昌弘		尾内 敏彦	10:45
11:00									坂井 俊文			11:00
11:15				知的財産 2	稲岡 美恵子				緒方 智成	アスタープ 2 ト	中川 貴	11:15
11:30					戸田 裕子						井内 健介	11:30
11:45					今井 順一						鹿野 京子	11:45
12:00 12:15	昼休憩（60分）			昼休憩（60分）								12:00 12:15
12:30 12:45												12:30 12:45
13:00			ポスターセッション	地域間連携 1	湯本 長伯	産学官連携教育の課題と苦悩 part 2 企業を核とした大学と地域との連携の実践 杉岡 秀紀	【OS】石塚 悟史 伊藤 慎一 下山 朗 杉岡 秀紀 ディスカッション：石塚 悟史 伊藤 慎一 下山 朗 杉岡 秀紀	産学官連携プロジェクト 2	河内 秀臣	アスタープ 3 ト	中田 泰子	13:00
13:15					湯本 長伯				吉田 綾		小竹 暢隆	13:15
13:30					西川 洋行				吉用 武史		小川 領一	13:30
13:45					木村 尚仁				崎山 智司		川名 優孝	13:45
14:00					平子 紘平				八神 寿徳			
14:15												14:15
14:30												14:30
14:45				開会式								
15:15	基調講演											15:15
16:00	シンポジウム											16:00
17:30												17:30
18:30	情報交換会（ベルクラシック函館）											18:30
19:30												19:30
20:30												20:30

タイムテーブル 6月20日(金)

時間	2 F			1 F								時間								
	サブアリーナ			多目的会議室 A		武道館 1		武道館 2		武道館 3										
	メイン会場		ポスター会場	A会場		B会場		C会場		D会場										
	セッション	講演者		セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者									
9:00	知財を活かす、デザインでつなぐ、産学橋渡しを強化・推進するアプローチ 永野 智己	【OS】 昌健 朝史 満生 迫田 戸村 古新 野鶴田 ディスカッション： 永野 満生 茅坂 迫田 戸村 古新 野鶴田	ポスターセッション（コアタイム 12時～13時）	ファンディングにおけるクラウド・原田 隆	【OS】 原田 隆 柴藤 亮介 杉岡 秀紀	積極的に研究・活動成果を学会誌に投稿しよう 小野 浩幸	【OS】 小野 浩幸 殿岡 北村 石塚 ディスカッション： 小野 浩幸 殿岡 北村 石塚 内川 服部 中田	スタートアップ・エコシステム共創プログラムに 甲信・北関東、北陸、中国・四国地域のスタートアップ創出に 小野 裕之	【OS】 裕之 史彦 内田 哲啓 角田 菊陽 滝田 ディスカッション： 小野 裕之 内田 史彦 角田 哲啓 滝田	産学官連携論 1	湯本 長伯	9:00								
9:15											秋丸 國廣	9:15								
9:30											須藤 慎	9:30								
9:45											松崎 瑞季	9:45								
10:00											XU QICHAO	10:00								
10:15											南 了太	10:15								
10:30																				10:30
10:45																				10:45
11:00																				11:00
11:15																				11:15
11:30																				11:30
11:45																				11:45
12:00											12:00									
12:15	昼休憩（60分）										12:15									
12:30											12:30									
12:45											12:45									
13:00	『イグイノベーションコンテスト研究』 学院MCまでを20歳で修了」を検証する 湯本 長伯	【OS】 湯本 長伯 木村 雅和 ディスカッション： 湯本 長伯 木村 雅和 ほか	12時～13時	人材育成 1	中村 友貴 堀田 厚 佐藤 光秀 川崎 一正 ☆ 柏谷 雄斗	産学官連携 3 プロジェクト	☆ 勝見 一生 関口 英里 ☆ 岡田 泰知 山澤 靖 藤原 貴典	地域間連携 2	松倉 隆央 森 和美 有田 健一 木村 雅和	産学官連携論 2	倉澤 諒 北村 寿宏 池田 虎三 清水 聖幸 内島 典子	開本 亮	13:00							
13:15												開本 亮	13:15							
13:30												山本 淳也	13:30							
13:45												出村 沙代	13:45							
14:00												永井 明彦	14:00							
14:15																				
14:30														14:30						
14:45											14:45									
15:00	公開OS			公開OS	13時～14時	人材育成 2	名畑 公晴 宮田 敦久 川端 千鶴 南 了太 樋口 明弘 陳内 秀樹	産学官プロジェクト 4	丹生 晃隆 山本 俊太郎 遊佐 正行 服部 大輔 米田 則篤 酒井 武信	マネジメント	伊藤 正実 狩野 幹人 三橋 一郎 山下 晃男 河合 孝尚	組織間連携 1	細川 奈生 松田 文雄 柴藤 亮介 爪林 研人 中辻 裕 藤原 渉	15:00						
15:15														15:15						
15:30														15:30						
15:45														15:45						
16:00														16:00						
15:00	公開OS	公開OS	13時～14時			人材育成 3	山中 貴博 今井 明 木村 真二 田口 英生 高濱 優子	リエゾン活動	鈴木 耕平 腰本 裕之 森 進太郎 関根 岳之 中島 龍一			組織間連携 2		15:00						
15:15														15:15						
15:30														15:30						
15:45														15:45						
16:00														16:00						

☆ 学生奨励賞エントリー

発表プログラム

一般講演・オーガナイズドセッション

6月19日（木）第1日目 メイン会場 10:00～12:00

オーガナイズドセッション 10:00～12:00

知的財産権・知財専門委員制度とビジネスコート

どう捉え応援するか

座長：湯本 長伯（社会構造設計研究所）

オーガナイザー：湯本 長伯

0619S1000-1 産学連携学会の活動と知的財産権研究会
○湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0619S1000-2 法としての知財～地域の産学連携実例から～
○伊藤 慎一（秋田大学）

0619S1000-3 ディスカッション
大学知財と知的財産権研究会の連携
司会進行：湯本 長伯（社会構造設計研究所）
討論パネル：伊藤 慎一（秋田大学）、
石塚 悟史（高知大学）

知的財産 1 10:00～11:00

- 0619A1000-1 北見工業大学における知的財産活動の現状
○片岡 沙都紀、三枝 昌弘、
三井 良一（北見工業大学）
- 0619A1000-2 大学が事件当事者となっている知財訴訟～その5～
（国・公立大学法人が被告となっている民事訴訟2）
○生田 容景（山口大学）
- 0619A1000-3 仮想空間上の商品・サービスの標識法上の保護
○村上 画里（東京造形大学）
- 0619A1000-4 アカデミア創薬の「知財」と「薬事」から見る
スタートアップの将来展望
○嵯峨山 和美（岡山大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）、
樋口 明弘（金沢大学）、宮崎 悟、松本 匡史
藤原 貴典（岡山大学）

知的財産 2 11:15～12:00

- 0619A1115-1 WIPO GREENの活用による大学研究成果の
知財戦略
○稲岡 美恵子（鳥取大学）
- 0619A1115-2 研究データの共有・活用における論点整理
～海外議論の動向を踏まえて～
○戸田 裕子、中西穂高（帝京大学）
- 0619A1115-3 福島県立医科大学TRセンターの技術移転の取り組み
～復興プロジェクトからの挑戦～
○今井 順一（福島県立医科大学）、
菅野 みずき（福島医大トランスレーションリサーチ
機構）

- 0619A1300-1 地域特性・多様性から異種異質連携を考察する
その5 大分・豊の国の考察
ー日本列島の多様性と各地要衝の特性を見出す
○湯本 長伯（社会構造設計研究所）、
村上 晶子（明星大学）
- 0619A1300-2 地域特性・多様性の異種異質連携考察
その6 日本列島の成立ちを考える
ープレートテクトニクスを起点に列島の多様性と
各地の特性を見出す
○湯本 長伯（社会構造設計研究所）、
村上 晶子（明星大学）
- 0619A1300-3 地域振興を担う産学官連携のエコシステム
ー岩手地域の産学官連携システムの分析ー
○西川 洋行、松本 泰彦
（文部科学省科学技術・学術政策研究所）
- 0619A1300-4 民学連携での国際スポーツ雪かきによる
小樽の地域課題への取り組み
○木村 尚仁（北海道科学大学）、
松代 弘之（札幌学院大学）、
森村 はる乃、武部 優里、原田 望愛、沼田 桜子、
西岡 光希（札幌学院大学まちおこし研究会）
- 0619A1300-5 地方中小大学における実践教育とリカレントの
関係による地域活性化教育プログラムの提案
ー金城大学KLIP-SOL構想の取り組みー
○平子 紘平、寒河江 雅彦、齊藤 実祥（金城大学）

オーガナイズドセッション 10:00～11:30

NEDO企画セッション

「地域におけるスタートアップ、産学連携の定着とその支援のリアル」
～ウェルビーイングと地域愛～

座長：馬場 大輔（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

オーガナイザー：馬場 大輔

- 0619B1000-1 政府施策に携わる立場からの地域支援の取り組み
○馬場 大輔（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- 0619B1000-2 大学の現場に携わる立場からのスタートアップ創出への取り組み
○中田 泰子（北陸先端科学技術大学院大学）
- 0619B1000-3 研究力集積地からのスタートアップ創出への取り組み
○平山 太市（茨城大学）
- 0619B1000-4 スタートアップ支援の立場からの地域経営人材確保の取り組み
○津國 浩之（東北大学ベンチャーパートナーズ）
- 0619B1000-5 実用化・事業化支援の立場からの環境づくりの取り組み
○今津 美樹（組織のためのビジネスモデル協議会、
函館市ものづくり産業アンバサダー）

オーガナイズドセッション

13:30～14:30

地域連携教育研究会企画セッション

地域連携教育の課題と苦悩PART2 ー企業を核とした大学と地域との連携の実際ー

座長：杉岡 秀紀（福知山公立大学）

オーガナイザー：杉岡 秀紀

- 0619B1330-1 若者の地元定着につながる企業プロジェクトによる新しい就業体験
○石塚 悟史、柳原 伊吹（高知大学）、
岡山 蒼衣（高知工科大学）、
須江勇介（株式会社アッシェ）
- 0619B1330-2 伝統文化の継承を核とした複数のステークホルダーが関与する課題解決型教育についてのあり方
○伊藤 慎一（秋田大学）
- 0619B1330-3 奈良県中小企業家同友会 景況調査の利活用に向けた展望ー産官学連携の取り組み事例からー
○下山 朗（大阪経済大学）
- 0619B1330-4 産学公連携・都市地方連携による産業創造プログラムの実際
○杉岡 秀紀（福知山公立大学）
- 0619B1330-5 ディスカッション
司会進行：杉岡 秀紀（福知山公立大学）
討論パネル：石塚 悟史（高知大学）、
伊藤 慎一（秋田大学）、
下山 朗（大阪経済大学）

産学官連携プロジェクト1

10:00～11:30

- 0619C1000-1 大阪大学「共同研究講座」における事業化事例
～NEXCO 西日本高速道路学共同研究講座における
研究成果の社会実装～
○友村 圭祐、吉田 夏樹、田山 聡、鎌田 敏郎
(大阪大学)
- 0619C1000-2 社会連携の多様性 ～産s・学・官s～
○安田 誠、荒平 智子 (大阪大学)
- 0619C1000-3 産学連携における実施内容と実績の概要
○成田 尚宣、山澤 靖、河内 秀臣、吉田 綾、
酒井 武信 (名古屋大学)
- 0619C1000-4 資源循環型社会の実現に向けた産学官連携
ー使用済み詰め替えパックの再利用とその課題ー
○三枝 昌弘、菅原 淳矢、片岡 沙都紀 (北見工業大学)
中島 邦夫 (北見エコスクールSDGs協議会)
- 0619C1000-5 産業振興政策を意識した地域建設企業から装置産業
進出への産学官連携を活用した戦略的展開
○坂井 俊文 (北海道科学大学)
- 0619C1000-6 熊本大学における産学連携制度の改革
～産学連携活動におけるインセンティブ制度～
○緒方 智成 (熊本大学)

- 0619C1300-1 大学シーズの見える化
○河内 秀臣、成田 尚宣、山澤 靖、吉田 綾
酒井 武信（名古屋大学）
- 0619C1300-2 持続可能な外部化法人の構築
○吉田 綾、酒井 武信、山澤 靖、河内 秀臣、
成田 尚宣（名古屋大学）
- 0619C1300-3 産学官連携によるGNT企業研究会の諸活動と展望
○吉用 武史（高知大学）
- 0619C1300-4 産学公民連携による理科・科学技術教育の展開(XI)
～科学少年隊事業の現状と課題～
○崎山 智司、岡田 秀希、岡村 吉永（山口大学）、
笹岡 秀紀（大島商船高専）
- 0619C1300-5 企業から見た大学ブランド商品の意義に関する
調査研究
○八神 寿徳（三重大学）、中川 勝吾（愛媛大学）

スタートアップ1

10:00～12:00

- 0619D1000-1 大学発スタートアップ創出に向けたギャップファンド
を伴う学内プログラム (1) 全体概要
○西野 由高、野村 豪、中澤 真吾、中内 靖、
金保 安則（筑波大学）
- 0619D1000-2 大学発スタートアップ創出に向けたギャップファンド
を伴う学内プログラム
(2) ハンズオン型メンタリングの効果
○野村 豪、西野 由高、中澤 真吾、中内 靖、
金保 安則（筑波大学）
- 0619D1000-3 大学発スタートアップ創出に向けたギャップファンド
を伴う学内プログラム
(3) 知財創出支援と影響評価
○中澤 真吾、西野 由高、野村 豪、中内 靖、
金保 安則（筑波大学）
- 0619D1000-4 大学発スタートアップ支援体制の日欧比較
○尾内 敏彦（東海大学）

スタートアップ2

11 : 15 ~ 12 : 00

- 0619D1115-1 大阪大学大学院工学研究科の産学官共創コースへのアントレプレナーシップ型の設置について
○中川 貴、倉敷 哲生（大阪大学）
- 0619D1115-2 どのような経営資源の結合がイグジット期間に影響するか？：学生スタートアップのM&AとIPOに関する比較分析
○井内 健介（北海道大学）、久保 雄一郎（神戸大学）、坂井 貴行（名古屋市立大学）、忽那 憲治（東京大学）、岩田 智（北海道大学）
- 0619D1115-3 大学における大学発ベンチャーとの兼業条件に関する研究
○鹿野 京子、小野 浩幸（山形大学）

スタートアップ3

13 : 00 ~ 14 : 00

- 0619D1300-1 産学連携と大学間連携によるアントレプレナーシップの醸成
○中田 泰子（北陸先端科学技術大学院大学）
- 0619D1300-2 東海地域のスタートアップ支援拠点と産学連携
○小竹 暢隆（山形大学）
- 0619D1300-3 地域連携による実践型子どもアントレプレナーシップ教育の展開
○小川 領一、小田 和広（大分大学）
- 0619D1300-4 大学発小規模スタートアップ企業に関わる経営について
○川名 優孝、平賀 和徳（合同会社海と緑の技術研究舎）、木船 弘康（東京海洋大学）

オーガナイズドセッション 9:00～12:00

JST-CRDS主催オーガナイズドセッション

知財を活かす、デザインでつなぐ、共創で育む

ー産学橋渡しを強化・推進するアプローチ

座長：永野 智己（科学技術振興機構）

オーガナイザー：永野 智己

- 0620S0900-1 話題提供 CRDS報告書
『科学技術・イノベーションエコシステムにおける
産学橋渡しの課題ー知的財産・デザイン・共創の観点
からー』調査結果からの報告
○満生 昌太、茅 明子、阪口 幸駿（科学技術振興機構）
- 0620S0900-2 わが国の産学官連携政策・施策
○迫田 健吉（文部科学省 科学技術・学術政策局）
- 0620S0900-3 未踏の社会価値を生む産学官連携：科学技術と芸術を
基軸にした、ソニー及び欧州STARTSのアプローチ
○戸村 朝子（ソニーグループ株式会社）
- 0620S0900-4 産学官連携活動の加速・強化を担う九大OIP
○古橋 寛史（九州大学 兼 九大OIP株式会社）
- 0620S0900-5 東京大学生産技術研究所の価値創造デザイン活動
○新野 俊樹（東京大学）
- 0620S0900-6 COI-NEXT拠点を基盤としたインフラ老朽化
問題に対する大学の新たな挑戦
○鶴田 修一（大阪大学）
- 0620S0900-7 総合討論
論点① 産学橋渡し上の課題は何か？
論点② 産学橋渡し上の課題を乗り越えるための
突破口は何か？
ファシリテーター：永野 智己（科学技術振興機構）

オーガナイズドセッション

13:00～14:30

「イグイノベーションコンテスト研究」

**【イノベーション提案・就学年齢5歳で大学院MCまでを20歳で修了】
を検証する**

座長：湯本 長伯（社会構造設計研究所）

オーガナイザー：湯本 長伯

0620S1300-1 主旨説明・新イノベーション創出宣言
『就学年齢を1年早め大学院MC修了年齢を20歳とする』
イグ・イノベーションについて－1
○湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0620S1300-2 『就学年齢を1年早め大学院MC修了年齢を20歳とする』
イグ・イノベーション－2
「トップガン教育で地域をブレイクスルーする」
○木村 雅和（静岡理科大学）

0620S13000-3 フロアを含むディスカッション
司会進行：湯本 長伯（社会構造設計研究所）
討論パネル：木村 雅和（静岡理科大学）、
イグイノベーションコンテスト事業
研究会研究会、中部北陸支部ほかの
参加者

6月20日（金）第2日目 A会場 9:00～16:00

オーガナイズドセッション 9:00～10:30

大学におけるクラウド・ファンディングの実践および展望

座長：原田 隆（東京科学大学）

オーガナイザー：原田 隆

0620A0900-1 研究支援活動としてのクラウドファンディング

○原田 隆（東京科学大学）

0620A0900-2 学術系クラウドファンディングと産学連携

○柴藤 亮介（アカデミスト株式会社）

0620A0900-3 テストマーケティングとしての

クラウドファンディングの実践ー福知山市の事例紹介ー

○杉岡 秀紀（福知山公立大学）

0620A0900-4 大学におけるクラウドファンディングの実践および展望

司会進行：原田 隆（東京科学大学）

討論パネル：柴藤 亮介（アカデミスト株式会社）、

杉岡 秀紀（福知山公立大学）

人材育成 1

10 : 45 ~ 12 : 00

- 0620A1045-1 ニーズとシーズをコネクト
～NEDOフロンティア部は産学連携を支援します～
○中村 友貴（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- 0620A1045-2 ニーズとシーズをコネクト
～NEDO若サポ事業に向いている人はこんな人～
○堀田 厚（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- 0620A1045-3 ニーズとシーズをコネクト
～NEDO若サポ事業をやっています～
○佐藤 光秀、赤崎 寿樹（信州大学）
- 0620A1045-4 産学連携による人材育成の課題
○川崎 一正（三条市立大学）
- 0620A1045-5 副業・兼業が地方の担い手不足解決に与える影響に関する研究
○柏谷 雄斗、小野 浩幸（山形大学）

- 0620A1300-1 教育現場との連携に向けた価値交換の実践
ー漁業の研究で中高生1600人調査を実現した例
○名畑 公晴、宮下 和士、三瓶 真、今村 聖祐、
山下 俊介、福田 覚（北海道大学）
- 0620A1300-2 新潟大学における知的財産教育の実践と課題
○宮田 敦久（新潟大学）
- 0620A1300-3 大学生が多様性との接触を通じて形成するキャリア
意識の変容プロセス ーシンガポールでの国際
インターンシップを対象とした質的分析ー
○川端 千鶴（北海道大学）
- 0620A1300-4 スタートアップ企業との産学連携・異分野融合教育
プログラム教育の一考察
～Curelabo株式会社・ペンタリンク株式会社と
京都精華大学の事例～
○南 了太（京都精華大学）
- 0620A1300-5 アカデミア研究の社会実装化のための教育セミナー
におけるアンケート
○樋口 明弘（金沢大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）、
嵯峨山 和美（岡山大学）
- 0620A1300-6 山口大学におけるパテントコンテスト・
デザインパテントコンテスト指導事例
～複数のワークショップを組み合わせた伴走型指導～
○陳内 秀樹、木村 真二、生田 容景（山口大学）

- 0620A1445-1 社会人連携で「私のwell-being」
「私たちのwell-being」が変わる
ー高校・大学協働PBLとその評価方法について
○山中 貴博（高知県立宿毛高等学校）、
川村 晶子（高知大学）
- 0620A1445-2 企業からの共同研究収入を合理的に増やすために
～支援人材ができること～
○今井 明（岡山大学）
- 0620A1445-3 知財教育教材の活用実態についての一考察
～知財セミナーアンケート分析から～
○木村 真二、生田 容景、陳内 秀樹、
Mirshod Kuchkorov、小川 明子（山口大学）
- 0620A1455-4 中小企業のDXのためのリスキリングの課題
～山形県内中小企業調査の結果から～
○田口 英生、小野 浩幸（山形大学）
- 0620A1455-5 協働型プロジェクト学習における学生の内的変容と
実践的思考の分析
○高濱 優子（神田外語大学）

オーガナイズドセッション 9:00～10:30

学会誌投稿・査読システム改革特別セッション

「積極的に研究・活動成果を学会誌に投稿しよう」

座長：小野 浩幸（山形大学）

オーガナイザー：小野 浩幸

- 0620B0900-1 セッションの趣旨説明
○小野 浩幸（山形大学）
- 0620B0900-2 学会誌『産学連携学』の現状と課題について
○殿岡 裕樹（学術誌委員長、琉球大学）
- 0620B0900-3 論文投稿の誘いと投稿サポートについて
○北村 寿宏（学術誌委員会副委員長、島根大学）
- 0620B0900-4 学会誌改革の方向性
○石塚 悟史（高知大学）
- 0620B0900-5 論文サポートに加わる関係者と若手研究者を交えての討論
司会進行：小野 浩幸（山形大学）
討論パネル：殿岡 裕樹（琉球大学）、
北村 寿宏（島根大学）、
石塚 悟史（高知大学）、
内山 大史（弘前大学）、
川崎 一正（三条市立大学）、
服部 大輔（島根大学）、
中田 泰子（北陸先端科学技術大学院大学）

- 0620B1045-1 大学発製品のブランド価値に関する研究
ーブランド価値構造の分析ー
○勝見 一生（新潟大学）
- 0620B1045-2 サステイナブルな地域活性と連携をめざして
ーメディア創造の可能性
○関口 英里（同志社女子大学）
- 0620B1045-3 組織間連携協定の解析による地域が大学に求める
取り組みの把握～北見工業大学を例として～
○岡田 泰知、内島 典子、ウアテイ（北見工業大学）
- 0620B1045-4 社会実装に向けた学内連携の構築
○山澤 靖、河内 秀臣、成田 尚宣、吉田 綾、
酒井 武信（名古屋大学）
- 0620B1045-5 リサーチパークと共同研究センター（第2報）
ー地域のイノベーション創出拠点としての期待と足跡ー
○藤原 貴典（岡山大学）、北村 寿宏（島根大学）、
嵯峨山 和美（岡山大学）

- 0620B1300-1 大学生の就職意向と観光業に対するイメージ
ー宮崎市と連携して実施した調査結果からー
○丹生 晃隆、加来 亜弥、川越 新菜、
金武 由（宮崎大学）
- 0620B1300-2 研究開発マネジメント人材によるデータ駆動型研究
のプログラムマネジメント
（医療データの利活用に向けて）
○山本 俊太郎（信州大学）
- 0620B1300-3 コスト低減型共同研究開発費の価格理論
○遊佐 正行、小野 浩幸（山形大学）
- 0620B1300-4 「社会実装」の普及と多義性に関する制度理論を
用いた研究
ー文献分析およびインタビュー調査によるアプローチー
○服部 大輔（島根大学）、丹生 晃隆（宮崎大学）、
秋丸 國廣（愛媛大学）
- 0620B1300-5 「リジェネラティブ農業(Regenerative Agriculture)」
について 産学官連携による持続可能な未来の「食」と
「地域」の可能性
○米田 則篤（和歌山大学）
- 0620B1300-6 持続可能な産学連携活動について
○酒井 武信、成田 尚宣、山澤 靖、河内 秀臣、
吉田 綾（名古屋大学）

- 0620B1445-1 函館における共創プロセスデザインの試み：
グラフィックファシリテーションが拓く地域連携
○鈴木 耕平、出村 沙代、
栗原 縁（株式会社たがやす）、
吉岡 幹人、山下 俊介、福田 覚（北海道大学）
- 0620B1445-2 手術器具個体管理・識別装置の性能実証試験の事例
○腰本 裕之（東海大学）、島田 克己（JISS0株式会社）
- 0620B1445-3 産学官金連携マッチングイベント「Matching HUB」の
全国展開の試みについて
○森 進太郎、中田 泰子（北陸先端科学技術大学院大学）
- 0620B1445-4 責任あるイノベーションのためにー
学術界と産業界におけるAIとテクノロジーの導入
○関根 岳之
（株式会社クリムゾンインタラクティブ・ジャパン）、
Anagha Nair、Sneha Nair、
Anupama Kapadia（研究支援エナゴ）
- 0620B1445-5 探索型共同研究
～「組織対組織」のイノベティブな産学連携テーマ
を創出する独自の仕組みとその将来展望～
○中島 龍一、大重 稿二、大地 幸和、古市 泰久、
成田 尚宣、松崎 瑞季、長島 正明（名古屋大学）

オーガナイズドセッション 9：00～11：00

「スタートアップ・エコシステム共創プログラムにおける地域の
スタートアップ創出」

ー北海道、甲信・北関東、北陸、中国・四国地域の取組み紹介ー

座長：小野 裕之（北海道大学）

オーガナイザー：小野 裕之

- 0620C0900-1 スタートアップ育成5か年計画における我が国の
取組とスタートアップ・エコシステム共創プログラム
○小野 裕之（北海道大学）
- 0620C0900-2 北陸地域におけるスタートアップ・エコシステムの
取組み
○内田 史彦（北陸先端科学技術大学院大学）
- 0620C0900-3 甲信・北関東地域におけるスタートアップ・
エコシステムの取組み
○角田 哲啓（信州大学）
- 0620C0900-4 中国・四国地域におけるスタートアップ・
エコシステムの取組み
○滝上 菊規（広島大学）
- 0620C0900-5 北海道地域におけるスタートアップ・エコシステムの
取組み
○滝田 陽介（北海道大学）
- 0620C0900-6 パネルディスカッション：地域プラットフォーム発の
スタートアップ企業の可能性について
司会進行：小野 裕之（北海道大学）
討論パネル：内田 史彦（北陸先端科学技術大学院大学）、
角田 哲啓（信州大学）、
滝上 菊規（広島大学）、
滝田 陽介（北海道大学）

- 0620C1115-1 カーボンフットプリントを起点とした地域共創による脱炭素支援の実践
～学生と支援機関の協働による中小企業支援モデルの構築～
○船倉 隆央（岡山大学）
- 0620C1115-2 高知県におけるデジタルデバイド解消×防災の実践について～産官学連携による持続可能な地域づくりを目指した取り組み～
○森 和美（高知大学）、
武市 裕樹（高知県立伊野商業高等学校）
- 0620C1115-3 地方における産学連携センターの取り組み
○有田 健一（東海大学）
- 0620C1115-4 地方私立理工系大学の産学連携活動について
○木村 雅和（静岡理工科大学）

- | | |
|-------------|--|
| 0620C1315-1 | <p>技術のみなし輸出の法令改定に関する大学の対応の課題</p> <p>○伊藤 正実（群馬大学）</p> |
| 0620C1315-2 | <p>特許出願公開による技術流出に関する分析
－輸出令別表第一の下位階層への展開－</p> <p>○狩野 幹人、三橋 一郎、安井 寿儀（三重大学）</p> |
| 0620C1315-3 | <p>特許出願公開による技術流出に関する分析
－輸出令別表第一の下位階層への展開に基づく傾向分析－</p> <p>○三橋 一郎、狩野 幹人、安井 寿儀（三重大学）</p> |
| 0620C1315-4 | <p>産学官連携活動におけるヒト生体試料の取扱いに係る法的検討</p> <p>○山下 晃男（広島大学）</p> |
| 0620C1315-5 | <p>研究インテグリティを確保するためのRIX
（Research Integrity Transformation）モデルの提案</p> <p>○河合 孝尚（広島市立大学）、山田 朗（愛媛大学）</p> |

産学官連携論 1

9:00～10:30

- 0620D0900-1 トータルメディア論から見た学会活動の考察その5ー
本会メールニュースの役割と設計をメッセージ寄りに
変える試み
○湯本 長伯（社会構造設計研究所）、
村上 晶子（明星大学）
- 0620D0900-2 地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的
研究ー32 共同研究実績の推移と「産学官連携に
よる共同研究強化のためのガイドライン」対応に
関する考察
○秋丸 國廣（愛媛大学）、北村 寿宏（島根大学）、
川崎 一正（三条市立大学）、竹下 哲史（長崎大学）
- 0620D0900-3 DeSciの日本における社会実装方法の検討
○須藤 慎（株式会社キャンパスクリエイト）
- 0620D0900-4 「知」の価値を具現化した産学連携制度設計と実践
○松崎 瑞季、大地 幸和、大重 稿二、古市 泰久、
中島 龍一、谷口 綾美、長島 正明（名古屋大学）
- 0620D0900-5 JSIP論文の類似性検索による産学連携活動の
トレンド分析
○^{ジョー ケイチョウ}XU QICHAO, 野田 博行, 杉本 俊之,
小野 浩幸（山形大学）
- 0620D0900-6 芸術・デザイン系産官学連携研究の現状
○南 了太（京都精華大学）

- 0620D1045-1 産学連携の状態把握モデル（2質点モデルを利用した指標化②）
○飯島 徹（室蘭工業大学）、竹下 哲史（長崎大学）、
秋丸 國廣（愛媛大学）、川崎 一正（三条市立大学）、
北村 寿宏（島根大学）、足立 和成（元山形大学）
- 0620D1045-2 産学連携共同研究の価格理論～共同研究金額を
価格理論に照らして考察する～
○倉澤 諒、小野 浩幸、田口 英生（山形大学）
- 0620D1045-3 地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的
研究－3 1
島根大学における2019～2023年度の共同研究
の相手先の地理的分布
○北村 寿宏（島根大学）、川崎 一正（三条市立大学）、
竹下 哲史（長崎大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）
- 0620D1045-4 選択可能なインセンティブ制度導入による大学教員の
産学連携活動への効果－金沢大学の事例－
○池田 虎三（金沢大学）、清水 聖幸（信州大学）、
安川 直樹、永平 廣則（金沢大学）
- 0620D1045-5 選択可能なインセンティブ制度導入による大学教員の
産学連携活動への効果－熊本大学の事例－
○清水 聖幸（信州大学）、池田 虎三（金沢大学）、
安川 直樹、永平 廣則（金沢大学）
- 0620D1045-6 専門高校における産学官連携活動事例から見た
人材育成推進への効果
○内島 典子、青山 エイト（北見工業大学）

- 0620D1300-1 A i による大学研究者タイプ（ボーア型・エジソン型・パスツール型）の分類判定と共同成果の予測計算
○開本 亮（大阪工業大学）、難波 英嗣（中央大学）、杉山 典正（大阪工業大学）
- 0620D1300-2 A i による企業研究者タイプ（ボーア型・エジソン型・パスツール型）の分類判定への拡張
○開本 亮（大阪工業大学）、難波 英嗣（中央大学）、杉山 典正（大阪工業大学）
- 0620D1300-3 大学等研究者の転退職時の知財取扱い指針について
○山本 淳也（内閣府 知的財産戦略推進事務局）
- 0620D1300-4 産学連携による共同研究立ち上げ期における共通認識の醸成と関係性構築プロセスグラフィック
ファシリテーションを活用した議論の可視化の実践ー
○出村 沙代、鈴木 耕平（株式会社たがやす）、成田 尚宣（名古屋大学）
- 0620D1300-5 企業との共同研究推進の取り組みについて
○永井 明彦（北陸先端科学技術大学院大学）

- 0620D1430-1 東京科学大学における多様な産学連携メニューを活用したイノベーションエコシステムの創出
○細川 奈生、飯田 香緒里（東京科学大学）
- 0620D1430-2 法人統合後の産学連携の基盤づくりと地域プラットフォームの形成
○松田 文雄、杉村 逸郎、森田 尋子、山崎 基治（奈良国立大学機構）
- 0620D1430-3 学術系クラウドファンディングで持続可能な研究環境を構築する
○柴藤 亮介、阿部 麻衣子（アカデミスト株式会社）、林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所）
- 0620D1430-4 情報の非対称性を解消する金融機関向け研究シーズの考察
○爪林 研人、伊藤 慎一（秋田大学）
- 0620D1430-5 論文データを活用した組織間連携探索方法の紹介
○中辻 裕（株式会社ジー・サーチ）
- 0620D1430-6 NEDOが取り組むスタートアップ支援の現状と課題
○藤原 渉（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

ポスター発表

コアタイム6月20日（金） 12:00～13:00

- P-01 科学研究費助成事業の種目と研究成果の関係性：
採択者の論文生産性にみる計量分析
○奥脇 勝也（山梨大学）
- P-02 AMED橋渡し研究支援プログラム（研究費事業）
のご紹介
○塩塚 政孝、大塚 進（日本医療研究開発機構）
- P-03 徳島県美波町における農村漁村発イノベーションに
関する住民意向調査
○篠原 愛果、小原 すずか、下東 康介（徳島大学）、
勘場瀬 貴志（徳島県美波町役場）、
中澤 慶久（徳島大学）
- P-04 徳島県美波町における買い物弱者に関する調査研究
○下東 康介、篠原 愛果、小原 すずか（徳島大学）
勘場瀬 貴志（徳島県美波町役場）、
中澤 慶久（徳島大学）
- P-05 西あわ世界農業遺産における在来ソバの農産物価値の
創出
○小原 すずか、大原 舞、伊藤 日向子、
橘花 生子（徳島大学）、
西岡田 治豈、西岡田 節子（生産者）、
中澤 慶久（徳島大学）
- P-06 AMED『橋渡し研究プログラム 大学発医療系
スタートアップ支援プログラム』のご紹介：
進捗状況および今後の取り組み
○大塚 進、吉川 公平（日本医療研究開発機構）

- P－07 Science Tokyoのスタートアップ支援と
アントレプレナーシップ教育
○川上 亜耶、松浦 昌宏（東京科学大学）
- P－08 探索型共同研究～「組織対組織」のイノベーティブな
産学連携テーマを創出する独自の仕組みと
その将来展望～
○中島 龍一、大重 稿二、大地 幸和、古市 泰久、
成田 尚宣、松崎 瑞季、長島 正明（名古屋大学）
- P－09 十勝地域の農畜産業に貢献する実証研究の推進
一次世代農畜産技術実証センター設置に係る現状
と課題
○柴田 雅、河野 洋一、東 陽介（帯広畜産大学）
- P－10 大学等研究者の転退職時の知財取扱い指針について
○山本 淳也（内閣府 知的財産戦略推進事務局）
- P－11 学術系クラウドファンディングで持続可能な研究環境
を構築する
○阿部 麻衣子、柴藤 亮介（アカデミスト株式会社）、
林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所）
- P－12 新たな産学連携活動；企業集積プロジェクトの現状
と課題－大学構内への酒蔵誘致について－
○高橋 悠、東 陽介、岡田 繁（帯広畜産大学）、
道見 康文（姫路大学）、河野 洋一（帯広畜産大学）
- P－13 熊本大学における安全保障輸出管理
○高宗 暢暁、桑田 誠（熊本大学）

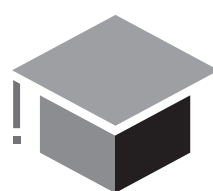
2025年8月21日 木
22日 金

東京有明

東京ビッグサイト
西4ホールにて開催！

日本全国の大学等機関が出展
特許取得済技術シーズ※の大展示会

※出願中含む



大学 Innovation Japan
2025 見本市

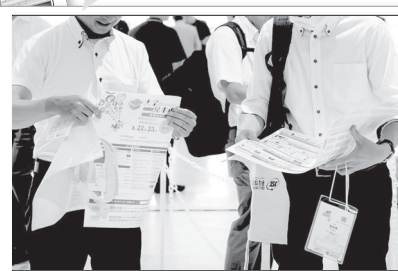
大学見本市 2025 イノベーション・ジャパン

研究者と企業が直に情報交換できる
日本最大級の産学連携イベント

●主催：JST 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

●共催：文部科学省

2025年は、大学等発の技術シーズに加え、大学発ベンチャー企業の展示もあり、JSTのさがし掛けやACT-Xの最新セミナー等、もりだくさんで開催します！



JST 大学見本市事業サイト 開催詳細・最新情報はこちらから

<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>



お問合せ先：JST大学見本市担当
✉ entry@jst.go.jp

A-STEP

実装支援
返済型

JSTは、大学等の研究成果の社会実装を目指す、
スタートアップ等による実用化開発を、開発費の貸付により支援します。

次の調達までに製品開発を加速し、企業価値の向上に繋がりたい

希薄化防止のために
出資以外で開発費を調達したい

新製品・サービスの実用化に向けて最後の一押しの開発費を確保したい



最長3年間の開発を上限5億円で支援！

- ▶ 銀行融資に比べてフレンドリーな貸付条件
- ▶ 技術と事業のポテンシャルを見て判断
- ▶ 通年でご相談受付中



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

スタートアップ・技術移転推進部
実装支援グループ

お問合せ先



jitsuyoka@jst.go.jp



03-5214-8995



www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html



ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム D-Global

<第4回公募>
R7年7月下旬
～8月上旬頃
開始予定

大学等の技術シーズを核にして、国際展開含め大きく事業成長するディープテック・スタートアップの創出を目指す大型のグラントです。

【支援内容】

- ✓ 原則3億円(上限5億円)、最長3年程度の支援を実施！
- ✓ 研究成果の事業化に向けた起業前の事業開発・研究開発を支援
- ✓ 直接経費からの特許経費支出が可能※1
- ✓ プロジェクト期間中に起業に至った場合、起業後の支援を継続することが可能

※1 支出にあたり指定の条件があります



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

スタートアップ・技術移転推進部
スタートアップ第1グループ

お問い合わせ先



start-boshu@jst.go.jp

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/deeptech/index.html>



【支援対象・推進体制】

- ✓ 概念実証およびスタートアップ組成フェーズに入るプロジェクトが対象
- ✓ 事業化推進機関※2および研究代表者の共同代表体制および、経営者候補人材の参画が必須
- ✓ 事業化推進機関がプロジェクト全体のマネジメントを実施

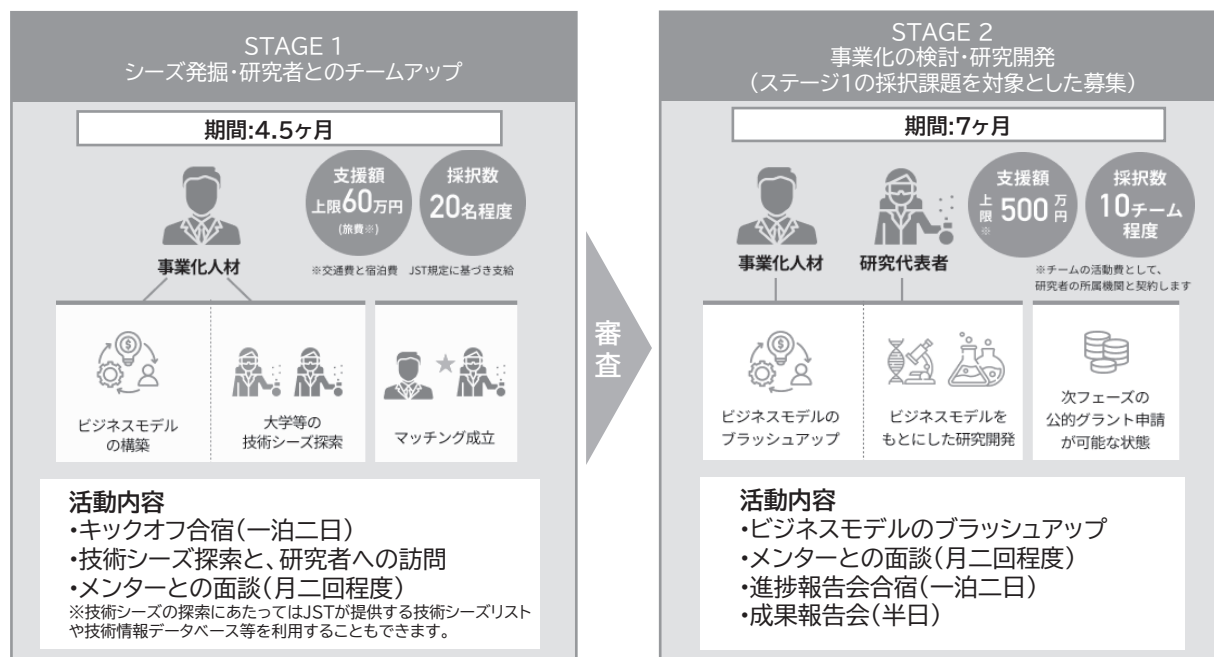
※2 VC、CVC、アクセラレーターなどの事業化ノウハウを持つ機関

大学等の技術シーズ × スタートアップ 創業を目指す挑戦者を募集



大学等の技術シーズを利用したスタートアップ創業を目指す方に向けて、
技術シーズ探索とビジネスモデルのブラッシュアップを支援するプログラム

早暁プログラム全体の流れ(2024年度実績)



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

【お問い合わせ先】 早暁プログラム担当窓口

E-mail: sogyo@jst.go.jp

☎ 03-5214-7054

【事業情報ページ】



NEDOは、
革新的・挑戦的な技術シーズを発掘し、
国家プロジェクトや企業との共同研究に発展
させることを目指します



NEDO先導研究プログラム

脱炭素社会の実現や新産業創出に向けた課題の
解決に資する「技術シーズ」を発掘・育成し、
国家プロジェクトを含む産学連携体制による共
同研究等に繋げることを目指します。
本プログラムでは、取り組むべき技術課題を設
定するため、広く情報提供依頼（Request For
Information：RFI）を行います。



制度詳細はこちら：

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100100.html

若手研究者発掘支援事業

次世代のイノベーションを担う人材の育成を
目指して、実用化に向けた研究を行う大学等
の若手研究者（45歳未満）と企業との共同研
究等の形成促進に向けた支援を実施します。
産学で地域課題に取り組む方にも注目して
います。



制度詳細はこちら：

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100166.html

技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・
解決策を「コンテスト形式」による懸賞金型の
研究開発方式を通じて募るプログラム
“NEDO Challenge” も実施中！



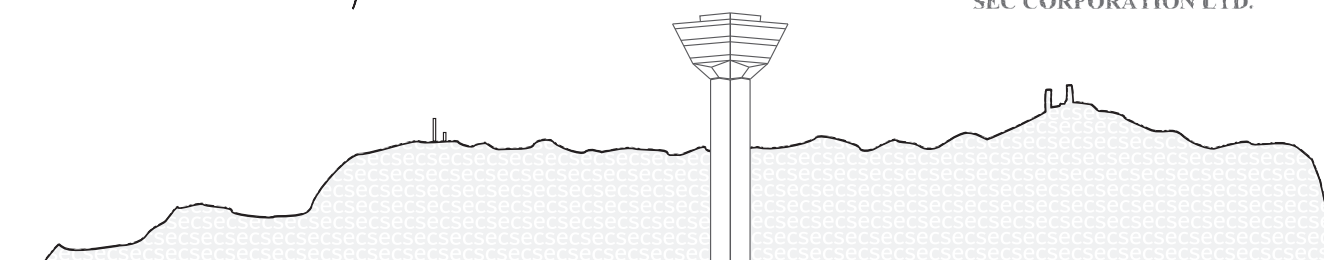
NEDO Challenge

テーマ等詳細はこちら：

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100268.html

創造力と
挑戦心で
未来を
動かそう。

THINK X
CHALLENGE
SEC
SEC CORPORATION LTD.



SEC は産学連携を通して
地域の発展・活性化に取り組んでいます

IDLink
mykarte.com
地域を超えてつながる





In 2021, we received the "Japan Invention Award" for the invention and practical application of this material.

Japan Patent No. 6162911

U.S. Patent US11,118,054 B2

Pressure-resistant, Waterproof Tough Polymer

Jellafin®

SEC-Seaprex Ltd.

Hakodate Rinkai Lab. Oo-machi 13-1, Hakodate city, Hokkaido, Japan

TEL : +81-138-27-7519 / FAX : +81-138-78-0093

Web : <https://sec-seaprex.co.jp> / Contact us : jellafin-support@sec-seaprex.co.jp

Insulation breakdown
over 19kV/mm (JIS K 6911)

Pressure-resistant
and explosion-proof
lithium batteries

Pressure resistant
and waterproof,
moisture-proof,
and dustproof

Unaffected by
corrosive gas
and salts.



High transparency
in light, electromagnetic
waves, and magnetism

Jellafin® is a two-component transparent polymer.

It has a jelly-like consistency after 24H curing.

耐圧防水樹脂ジェラフィンとその防水技術は、北海道大学、北海道立工業技術センターとの産学間の共同連携から生まれた、函館生まれの新素材です。



変化を起こす側へ、回れ。

社会は、課題にあふれている。

その課題はしかし、

未来を創造する手がかりでもある。

社会が求めるところに、価値は生まれる。

しなやかな感性と突破力で、

私たちは今日を見つめ、明日を切り拓いていく。

変化を恐れては、前へ進めない。

本気で社会を良くするために。

私たちはつねに前を向き、挑み続ける。



KASUMIGASEKI CAPITAL

産学官連携

『クリエイティブネットワーク』

函館市における産業経済の

自律的な発展に寄与する

OVERVIEW

目的

産学官連携「クリエイティブネットワーク」は、大学・高専等と連携を図り、より競争力のある企業体質への転換や、函館地域における産業経済の自立的な発展に寄与するため、民間企業が主導となって立ち上げた産学官連携組織です。

代表

株式会社ライズ・マーケティング・ジャパン 代表取締役 笹谷 努

会員

所属団体: 46（企業等: 40 社, 大学/高専: 5 校, 函館市） ※所属団体の詳細については、会員一覧を参照

PROJECTS



【ものづくりキッズ工房】

函館発明協会が主催にて実施した「ものづくりキッズ工房」に協力団体として参画いたしました。子どもたちに、中空土偶「芽空(かっくう)」の鋳物やレーザーカッターを用いたキーホルダーの作成等、本格的なもののづくりを体験していただきました。

会場: (株)村瀬鉄工所, 函館高専

日時: 令和6年8月3日, 8月17日



【函館市への提言に向けた意見交換】

当会の設立 25 周年を記念して、25 周年記念事業「函館市への提言」に向けた意見交換会を開催いたしました。主に函館市が抱える課題について、次世代を担う若手経営者等を中心に意見交換を行いました。

会場: 函館市役所会議室

日時: 令和6年8月3日, 10月29日



【産学官連携講演会「函館×発酵」】

函館と発酵をテーマとした講演を実施し、試食(試飲)を楽しみながら発酵について学びを深めました。また、会場で地元の発酵食品をお買い求めいただける販売ブースを設置し、函館のグルメを多くの方に感じていただきました。

会場: 函館国際ホテル

日時: 令和7年3月22日

INFORMATION

会員一覧

株式会社池見石油店, 株式会社エスイーシー, 株式会社エルフィン, 函東工業株式会社, 株式会社工藤組, タカノ株式会社 函館事業所, 月館測量設計株式会社, トナミ食品工業株式会社, 函館エヌ・デー・ケー株式会社, 函館酸素株式会社, 株式会社セコニック, 函館造船株式会社, 函館電子株式会社, 有限会社半田造船鉄工所, 株式会社富士サルベージ, 株式会社船田無線電機商会, 北船興業株式会社, アークジョイン株式会社, 株式会社村瀬鉄工所, 株式会社メデック, 函館五稜乃蔵株式会社, 山一食品株式会社, 株式会社ビックボイス, 株式会社アサヒ, ナカ電子株式会社, 株式会社グローバル・エブリット, 株式会社ハイソフテック, 日新電子工業株式会社, 池田工業株式会社, 株式会社アクロクレイン, サンテック株式会社, 株式会社アルティスタ, 株式会社インテリジェントウェイブ, 株式会社ライズ・マーケティング・ジャパン, 株式会社ワイズ, 株式会社ミラック光学, 株式会社ミュートネット, 株式会社 T&T Eng., 株式会社ワダエンジニアリング, 株式会社近藤商会, 公立ほこだて未来大学, 函館工業高等専門学校, 函館大学, 北海道教育大学函館校, 北海道大学大学院水産科学研究院, 函館市

お問い合わせ

産学官連携『クリエイティブネットワーク』運営事務局（函館市）

電話: (0138) 21-3350

メール: kougyou1@city.hakodate.hokkaido.jp

公式 HP: <https://www.hotweb.or.jp/cnet/index.htm>





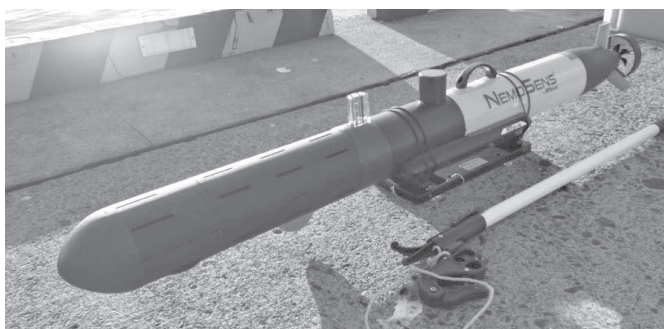
株式会社 大歩

DIVE Co., Ltd

大きく一歩ずつ確実に信頼と実績を積み重ね歩んでいきます

弊社は2011年に潜水業務全般に特化した会社として設立し、潜水土木工事や港湾調査、災害救助・捜索さらにはダイビング講習を通じた教育活動も行っております。近年では水深40m以深にも対応できる混合ガスを用いたシステムを導入し、安全安心な大深度潜水を行うことができます。また、空中・水中ドローン事業に取り組み、沿岸施設の空撮、水中画像撮影、海難捜索を行い、さらには水深4mの屋内プールも完備し、水中ドローンスクールも開設しております。

自律型無人探査機(AUV)事業

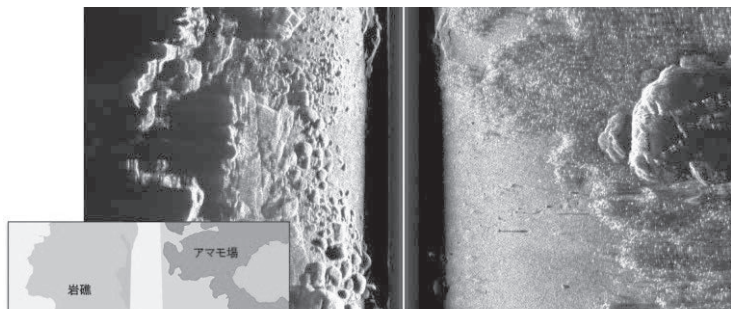


自律型無人探査機(AUV) NemoSens (RTSys社製)

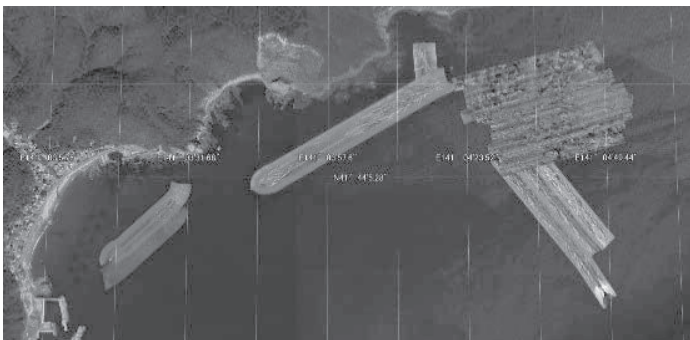
最近では自律型無人探査機(AUV)(左図)を使用して「海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」を函館市恵山地区にて北海道大学と共同で音響画像解析の実証試験を行っております。

AUVとはプログラミングにより水中を自動航行し、音響画像、VTR画像、位置、水深、環境観測、磁気反応等の情報を得ることができるロボットです。

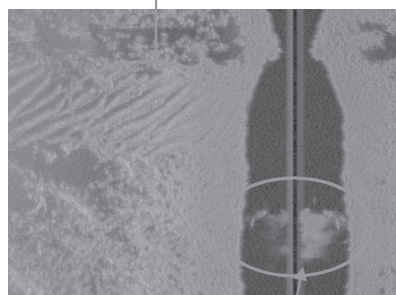
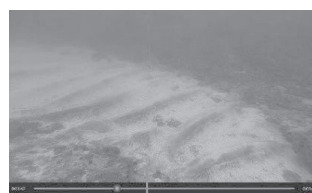
AUVのサイドスキャンソナーから得られた音響画像では海底地形やダイバーが認識でき、さらには海藻や底質の判別も可能です。



サイドスキャンソナーのデータイメージ



音響画像と衛星画像の合成図

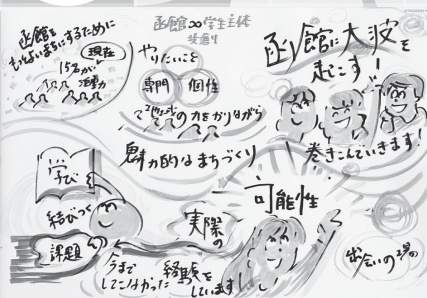


サイドスキャンソナーによる音響画およびVideo画像

代表取締役 中村徹也 〒041-0821 函館市港町3丁目5-19
TEL0138-41-7117 FAX0138-83-2467

アイデアの種を一緒に育ててみませんか。

プロジェクトマネジメント / 科学技術コミュニケーション / グラフィックファシリテーション



一人ひとりが

輝く土壌をつくる。

企画やプロジェクトのお悩みや相談事を、
グラフィックファシリテーションで可視化して整理します。

0→1を作るための企画をしたい

「なんとかしたい」人の「どうなりたいか」を一緒に見つけます

会議やプロジェクトの突破口を探したい アイデアを集めて優先順位を決めたい

すでにあるものを見つめる、支える、守る、周りへの橋渡しをします



上記グラフィックの一部は、7ステップの軸に沿ってプロジェクトを進めています。

➤ など、まずはお気軽にご相談ください。

私たちはこれまで、産学連携を軸に大学・研究機関・企業とともに、短期から長期にわたるさまざまなプロジェクトに伴走してきました。

企画のアイデア出し／科学的知見を社会実装するための認識共有／合意形成／大学の長期プロジェクトのマネジメント支援／産学連携のための異分野間のコラボレーションなど、ともに考え、ともに歩むことを意識して取り組んでいます。

グラフィックファシリテーションを活用し、言葉にならない違和感や想いを、可視化し、対立ではなく理解に向かい、つなげていく。そんな“ともに考える場づくり”を大切にしています。

「見える化」を効果的に活用していきながら、あらゆる場において土壌をたがやします。

〔組織開発〕
組織をたがやす

〔プロジェクト伴走〕
現場をたがやす

〔教育・研修〕
人をたがやす

〔グラフィックファシリテーション〕
会議をたがやす

〔コーチング・カウンセリング〕
心をたがやす



tagayasu

株式会社たがやす（函館営業所）

本社 〒939-8082 富山県富山市小泉町181番地

<https://tgys.co.jp/>





内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」

函館マリカルチャープロジェクト

魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築

～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～

○「函館マリカルチャープロジェクト」とは？

- (1) キングサーモンとマコンブの完全養殖技術、さらには先駆的な取り組みとして魚類養殖により排出されるCO₂を海藻養殖により吸収する地域カーボンニュートラル(RCN)による水産養殖研究を推進し、地域で養殖産業群を形成するとともに、その現場での実践的な教育研究により企業と若者を集め地域に定着させることで、持続可能な水産・海洋都市の実現を目指す取り組みです。
- (2) このプロジェクトは、函館市を事業主体として令和4年度の内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」に申請し採択されたものであり、函館の未来を創る「まちづくり」「ひとづくり」のプロジェクトです。

計画内容

地域産学官連携プロジェクト

- ▼日本初のキングサーモン完全養殖技術の確立
- ▼生産量日本一のマコンブ完全養殖技術の確立
- ▼地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖
- ▼北海道大学の大学改革・人材育成



プロジェクトの概要

キングサーモン完全養殖研究

- ・キングサーモンの完全養殖技術の確立
- ・キングサーモンの海面養殖技術の確立
- ・種苗生産に関する試験研究
- ・餌料開発及び生産物の機能性分析に関する試験研究
- ・海面養殖における管理及び環境評価に関する試験研究



地域カーボンニュートラル (RCN)



魚類養殖が排出するCO₂を海藻養殖や地域の天然海藻資源が吸収するCO₂でオフセットし、その地域全体として養殖業のカーボンニュートラルを達成するものです。
※RCN: Regional Carbon Neutral

マコンブ完全養殖研究

- ・養殖コンブを母藻としたマコンブの完全養殖研究
- ・高水温耐性の付与に関する研究
- ・乾燥システムや食品・医薬品素材となる中間素材の開発
- ・次世代コンブ産業形成に向けた研究
- ・カーボン吸収源として地域カーボンニュートラル養殖の実現
- ・ブルーカーボン増幅に資する天然コンブ藻場創出研究



- ・「北海道大学地域水産業共創センター」の設置及び運営
- ・CREEN人材育成プログラムの実施
- ・学部・大学院におけるRCN養殖現場での卒業研究及び修士・博士研究



- 函館地域のRCN養殖産業を担うCREEN人材とは
- ・Creative & Cooperative: 創造性豊かで協調性のある人材
 - ・Realistic: 現実主義で実学を推進できる人材
 - ・Entrepreneurial & Energetic: 起業家精神を持ち何事にも挑戦する行動力のある人材
 - ・ECO: 環境と経済を両立させることができる人材
 - ・Naturalized: 函館を愛し函館に住み続けたい人材

RCN養殖産業においてCREEN人材が活躍

養殖産業群の形成と企業・若者の地域定着



プロジェクトWebサイト

お問い合わせ先

一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構
✉ project@marine-hakodate.jp • 0138-21-4700

函館マリカルチャー

検索



函館真昆布Webサイト

ここは北海道、
自然がうまい。
おいしさを創造する北海道乳業



北海道乳業



清潔で安全な環境づくり

北海道ビルメンテナンス株式会社

HOKKAIDO BUILDING MAINTENANCE CO.LTD

緑の下の力持ちでもかまわない
人と人を笑顔にする 縁をつなぐ 仕事を目指して

事業内容

総合ビルメンテナンス業・環境衛生管理業・警備業

事業所・営業所

本社

〒062-0005 札幌市豊平区美園5条6丁目1-1
TEL:011(820)3801 FAX:011(820)3815

室蘭営業所

〒050-0071 室蘭市水元町49-3-101
TEL:(0143)45-9888 FAX:(0143)45-9887

函館営業所

〒041-0811 函館市富岡町1丁目22-36
TEL:(0138)86-5200 FAX:(0138)86-5205

釧路営業所

〒085-0814 釧路市緑ヶ岡2丁目37-17
TEL:(0154)64-6261 FAX:(0154)64-6271

旭川営業所

〒078-8391 旭川市宮前1条4丁目15-31
TEL:(0166)34-8392 FAX:(050)3730-1675

北見営業所

〒090-0043 北見市北3条西5丁目11番
TEL:(0157)26-7560 FAX:(0157)88-0806

帯広営業所

〒080-0012 帯広市西2条南7目1-3
TEL:(0155)20-1231 FAX:(0155)20-1232

滝川出張所

〒073-0005 滝川市二の坂町東1丁目16-35
TEL:(0125)22-8056 FAX:(0125)22-8057



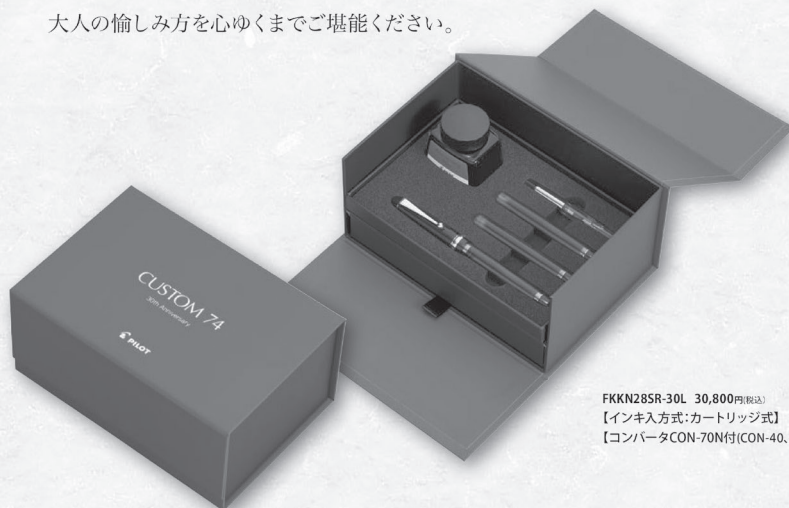
PILOT

30年目も、一人ひとりの「書く」に答え続ける

CUSTOM 74 30th Anniversary

数量限定でお届けするCUSTOM 74 30th Anniversaryモデルは、万年筆の軸はもちろん、ペンやインキ、パッケージに至るまで、すべてに特別なこだわりをちりばめました。

貴方の気分に合わせてペンをカスタマイズする、大人の楽しみ方を心ゆくまでご堪能ください。



周年記念に相応しいブルーインキ



30年の歴史を表した特別なペン先とリング刻印



FKKN28SR-30L 30,800円(税込)
【インキ入方式:カートリッジ式】
【コンバータCON-70N付(CON-40、-70N適合)】



豊富な品揃え、文具・事務用品の専門店

石田文具

本社／函館市鍛冶1丁目39番11号
小売部／北斗市七重浜2丁目45番5号
TEL(0138)49-3171(代) FAX(0138)49-3271
<https://www.ishidabunko.co.jp>
営業時間/9:30~18:30(年中無休)

函館・道南のタクシー観光は
安心エスコートの



北の星
kankobus taxi



株式会社ケーエス 北の星観光バス

函館市西桔梗町863番地1
TEL:0138-86-5566
FAX:0138-86-6688

タクシー配車
ご用命は

0138-48-8171

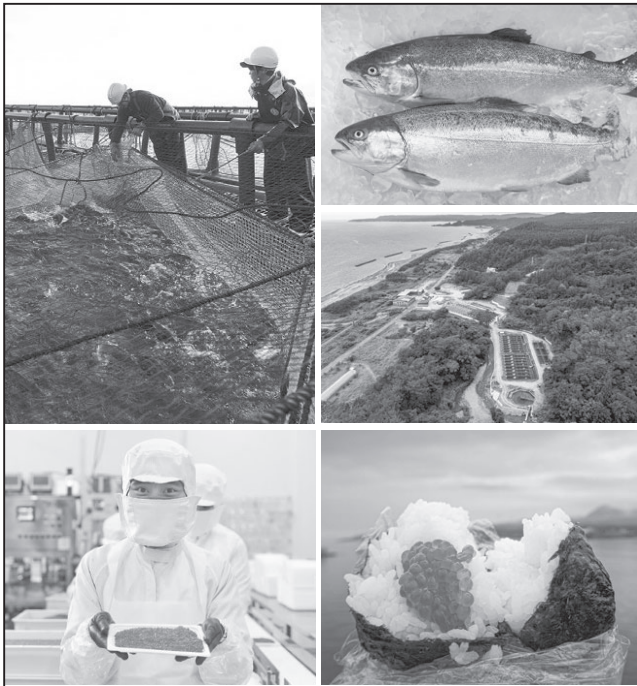
メールでのお問い合わせは

info@kitanohoshi.com

ホームページ

kitanohoshi.com





青森のおいしさを、 世界中にお届けしています。

わたしたちは、漁師さんをはじめ地域の方々と一緒に、
青森ならではの自然環境で「青森サーモン®」を養殖し、
ホタテなどとともに青森県の水産物を世界中にお届け
し続けています。



オカムラ食品工業



JAPAN SALMON FARM

PORT

オカムラ食品工業
公式ホームページ



オカムラ食品工業
公式Xアカウント



オカムラ食品工業
公式noteアカウント



日本サーモンファーム
公式ホームページ



ポート
オンラインショップ



ボート店舗
〒030-0912
青森市八重田
1-6-12

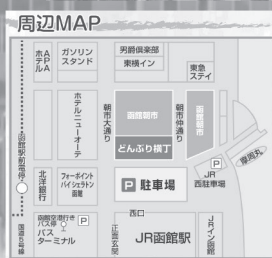
株式会社オカムラ食品工業〔証券コード：2938 東証スタンダード〕 青森本社／〒030-0912 青森県青森市八重田1-6-11 TEL 017-736-7777 (代表)



01 函館らび	02 鮭おぼろ	03 お魚処	04 馬子とやすべ	05 櫻桂おやうじ	06 糠屋	07 お魚処	08 すしの鮭	09 茶夢	10 マルツ	11 アジ
12 朝市御食	13 北海	14 花亭	15 味噌	16 えび	17 いし	18 駅前	19 稲場			

出入口 仲通り側出口

函館駅方面
中央出入口
(中央広場)



函館朝市どんぶり横丁市場
(函館朝市第一商業協同組合)
住所：函館市若松町9-15
TEL:0138-22-6034
Fax:0138-22-6037

学校教材・事務用品・OA機器



有限会社 北光教販

〒041-0843 函館市花園町10番24号

TEL (0138)31-2696 FAX (0138)31-2697

URL <https://www.hokko-kyohan.com>

Mail info@hokko-kyohan.com



試薬・理化学機器の検索・発注ができる
研究者のための総合購買サイト

e e-laboservice

<https://www.e-laboservice.com/>

わが社は、試薬・理化学機器のトータルサービスの提供を通して、医学をはじめとする科学分野の発展に貢献することを使命とし、心豊かな地球環境の創造と、社員の物心両面の幸せの実現を目指す企業として歩み続けます。



[バイオ関連試薬・理化学分析機器・臨床検査機器・診断薬]



北海道和光純薬株式会社

〒001-0015 札幌市北区北15条西4丁目1番16号 TEL 011-747-2811(代表) FAX 011-747-2934

URL <http://www.hwako.com> ご注文専用Mail hokkaido@hwako.co.jp

北海道和光純薬 検索



海の幸は、 人の幸。

日本有数の水産都市「函館」から
世界各地の漁場をネットワークに
安全で安心できる水産物流を拓き
価値ある食文化を支えていきます。

三印 三浦水産株式会社 [web http://www.sanjirushi.co.jp](http://www.sanjirushi.co.jp)



本社

函館市湯浜町1番4号
TEL:0138-51-6322
FAX:0138-51-6334



東京支店

東京都中央区銀座5丁目9番8号
クロス銀座ビル6階
TEL:03-6274-6417
FAX:03-6274-6418



大阪支店

大阪府大阪市中央区備後町2丁目
4番14号 ビカン備後町ビル8階
TEL:06-6226-8591
FAX:06-6226-8590



札幌支店

札幌市中央区北13条
西19丁目37-6 ぎょりんビル405
TEL:011-632-1500
FAX:011-624-6263



第二冷蔵庫

函館市浅野町4番3号
TEL:0138-44-6300 FAX:0138-44-6311



第三冷蔵庫

函館市港町2丁目14番36号
TEL:0138-83-1111 FAX:0138-83-1112

関連会社

恒栄商事株式会社 東京都中央区銀座5丁目9番8号 クロス銀座ビル6階 TEL:03-6264-6723
札幌蟹販株式会社 札幌市清田区真栄2条1丁目3-15 TEL:011-884-1111

有限会社丸友幸栄水産 枝幸郡枝幸町南浜町 TEL:0163-62-1576
株式会社いかめし阿部商店 東京本部 東京都中央区銀座5-9-8 クロス銀座ビル6階 TEL:03-5962-8989

函館
むらかみ

函館本店

函館市大手町22番1号
TEL 0138-26-8821

函館駅前店

函館市若松町7番1号
TEL 0138-24-8500

札幌店

札幌市中央区北3条西4丁目
日本生命札幌ビルB1F
TEL 011-290-1000



北三陸から世界の海を豊かにする

私たちは、北三陸に位置する洋野町から水産業を次世代に繋げていくため、磯焼けを始めとする水産業の課題に向き合う水産ベンチャーです。資源管理を徹底した世界唯一の「うに牧場®」や、藻場再生につながる「うに再生養殖」の技術開発・グローバル展開に取り組んでいます。



KITA-SANRIKU FACTORY

紙とデジタルの融合 “伝える”をカタチに



<https://sanwa-pt.co.jp/>



印刷・プリント・ノベルティー・看板サイン

有限会社 三和印刷 〒040-0061 北海道函館市海岸町8番11号 TEL: 0138-45-0845 FAX: 0138-43-3594



人を思う。未来を思う。

商工中金



食品・水産加工機械メーカー

株式会社タイヨー製作所

北海道北斗市清水川226-10

TEL:0138-77-1001

FAX : 0138-77-1001



ともに歩む、変わる未来へ
変わらない想いで



道南うみ街信用金庫



本店 檜山郡江差町字本町 132 番地

本部 函館市上新川町 1 番 25 号



総合建設コンサルタント 株式会社ドーコン

本社 / 〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4 番 1 号

TEL 011-801-1500 FAX 011-801-1600

URL <https://www.docon.jp>



函館酸素

大陽日酸グループ

本社 / 函館市浅野町 1 番 3 号

本社臨空工場 / 函館市鈴蘭丘町 3 番 128

室蘭営業所 / 室蘭市築地町 89-109

札幌営業所 / 札幌市白石区米里三条 2 丁目 8 番 20 号

URL: <https://www.hakosan.co.jp>

◆営業種目◆

- ・各種圧縮ガス及び液化ガスの製造及び販売
- ・各種溶断機器及び関連材料、機械工具、安全保護具の販売
- ・医療ガス設備工事の請負及び設備等の保守管理
- ・医療用機器の販売、賃貸及び修理



高压ガスを通じて

地域の発展に貢献します

函館酸素株式会社

TEL0138-42-2411 Fax0138-42-4888



北洋塩業株式会社

〒040-0076 本社 北海道函館市浅野町 4 番 7 号

TEL(0138)44-7111 FAX(0138)40-3355

<https://www.hokuen.co.jp>

事業所/函館・札幌・苫小牧

北海道船用品株式会社

代表取締役 照井 文雄

本社 室蘭市海岸町3丁目3番5号

TEL 0143-22-1321 FAX 0143-22-1324

支店 函館市弁天町25番2号

TEL 0138-23-0721 FAX 0138-23-5420

営業所 苫小牧市汐見町1丁目2番2-106

TEL 0144-35-2601 FAX 0144-35-2624

養殖業をトータルサポートする

種 苗

環境改善剤

係留資材

餌 料

生簀・網

環境計測機器



ニチモウグループ

北海道ニチモウ株式会社

本 社 〒040-0051 北海道函館市弁天町29-2 TEL. 0138-23-7114

森工場 TEL. 01374-2-2728

函 館 TEL. 0138-23-7114

小 樽 TEL. 0134-23-8371

稚 内 TEL. 0162-23-2814

WEB: <https://hokkaido-nichimo.com/>

釧 路 TEL. 0154-64-9305

網 走 TEL. 0152-43-3588

根 室 TEL. 0153-23-2157

E-MAIL: info@hokkaido-nichimo.com

マッチングで世界を変える



技術マッチングで、モノづくりの生産性を最大化。

各産業に精通した産業コーディネーターによる「目利き」と、

ITを駆使した高精度な探索システムを掛け合わせ、

これまでの枠を超えた創造的で革新的なビジネスマッチングを実現させます。



副賞は専門家の伴走支援
最優秀賞
創業資金 50万円
優秀賞 30万円
特別賞 10万円

北海道 Society5.0 みらい創造 ワークショップ

北海道内で新事業を検討している社会人・学生・事業者へ

ITテクノロジーを用いてビジネス課題を解決したい社会人・学生・事業者へ



参加締切は9月19日!
参加無料!

開催日時

13:00 ~ 16:00

オリエンテーション: 2025年10月04日(土)

中間選考(Day4): 2025年11月05日(土)

最終発表会(Day10): 2026年02月21日(土)

全10回のカリキュラム予定

参加資格

高校生・高専生・大学生・社会人

チーム&個人両方参加OK!

※チームでの参加は申込フォームにチームメンバーを記載してください

開催場所

札幌・函館・帯広など各会場 オンライン会場

アドバイザー(去年実績)

北海道大学 山本 強 名誉教授

北海道大学 椎名 希美

産学・地域連携推進機構 産学連携推進本部
スタートアップ創出本部アントレプレナー教育部門
部門長 特任准教授

北海道大学 白石 琉人

産学・地域連携推進機構 産学連携推進本部
スタートアップ創出本部アントレプレナー教育部門
副部門長 スタートアップ創出マネージャー

特定非営利活動法人 e-Education
三輪 開人
代表理事 CEO & Co-Founder

小樽商科大学 猪口 純路 教授
大学院農学研究科アントレプレナーシップ専攻

旭川医科大学 谷 祐児 准教授
経営企画部 准教授/副部長

北海道教育大学 鈴木 哲平 准教授
岩見沢校ヘルスケア・スポーツマネジメント研究室

北海学園大学 佐藤 大輔 教授
経営学部・大学院経営学研究科
キャリア支援センター センター長
地域連携推進機構 連携推進マネージャー

苫小牧工業高等専門学校
金子 友海 准教授
地域共同研究センター 副センター長

共催: SCSK SCSK北海道株式会社

北海道大学 協力

公益財団法人
とちか財団(LAND)

後援: 函館市 帯広市 北見市

長沼町 空知信用金庫

STARTUP HOKKAIDO

本大会は「公益財団法人北水協会学術交流等支援事業」「函館市コンベンション開催補助金」
「北海道コンベンション誘致促進事業費補助金」の支援を受けています。

お問い合わせ

産学連携学会第23回大会函館大会 事務局

TEL:0138-40-5039

E-Mail:sangaku2025hakodate-rfc@fish.hokudai.ac.jp

特定非営利活動法人 産学連携学会ホームページ <http://www.j-sip.org/>

